

岐阜市景観基本計画

～人とともに成長する風景まちづくり～

岐阜市

【目次】

第1章 岐阜市景観基本計画について

1. はじめに	1
2. 計画の目的	2
3. 計画の位置づけ	3
4. 計画の施策体系	4
5. これまでの経緯	5
6. まちづくりに関わる市民意識	6
7. 各種調査結果	7

第2章 岐阜市の風景特性

1. 岐阜市の風景形成の背景	8
2. 要素の定義づけ	10
3. 要素別の特性	12
4. 岐阜市の風景特性分類	28

第3章 岐阜市景観基本計画

1. 基本理念	30
2. 基本目標	32
3. 基本方針	33
4. 風景特性分類ごとの基本方針	35
5. 重要な区域	49
6. まちづくりの推進体制	51
7. まちづくりの進め方	53
8. まちづくり施策の方向性	54

その他

岐阜市景観審議会	55
用語の解説	57

第1章 岐阜市景観基本計画について

1. はじめに

岐阜市は、北部に標高 300mに及ぶ山々が連なり、丘陵に囲まれた平坦部には田園風景が広がり、中央部には緑豊かな金華山がそびえ、清流長良川が東西を貫流するなど、山紫水明の風景美に恵まれています。

金華山の麓にひろがる岐阜町は、長良川の水運によって川湊として盛え、斎藤道三公、織田信長公が礎を築いた城下町として歴史が偲ばれる風景を維持しています。岐阜町は、江戸時代の中山道加納宿や鮎鯨を献上するルートである御鯨街道を通じるなど交通の要衝として栄え、今なお名残ある風景を継承しています。また、1300 年以上の歴史を誇るぎふ長良川の鵜飼は、伝統漁をはじめとした川文化を伝承し、活きた風景を現在につないでいます。

さらに、本市では、中心地が時代とともに、一つの都市軸上を移動している特性を有しています。戦国期の岐阜城下町、江戸期の加納城下町、明治大正期のつかさのまち、昭和期の柳ヶ瀬、平成期の岐阜駅周辺の各地域では、そうした時代の名残を感じることができます。その他市町村合併により都市を拡大してきた本市では、個性豊かな特性を有する地域が多くあります。こうした岐阜ならではの風景には、そこに暮らす人々の日常の暮らしや生業、生活や文化が溶け込み、時代にあわせ、変化をしながら、継承されています。

本市においては、平成 16 年 12 月の景観法施行を受け、平成 19 年に岐阜市景観基本計画を策定し、景観計画による規制誘導や電線地中化、街路修景といった景観形成事業などの環境整備を通して、美しい景観を未来に引き継ぐまちづくりを進めてきました。

そして、令和の時代に入り、社会経済情勢は大きく変化しています。人口減少、超高齢社会などによる景観形成を支える担い手不足、人が不在の空き家問題などが顕在化し、景観まちづくりの方向性も転換の時期を迎えています。

「景観 10 年、風景 100 年、風土 1000 年」と言われるように、これまで、10 年単位で取り組んできた外観的な景観整備を中心とした取り組みに加え、このまちを大切に思う多様な価値観をもった人々が、様々な形で岐阜のまちに関わり、そうした動きを積み重ね 100 年先のまちを彩る風景まちづくりの取り組みが、より重要となっています。

こうしたことを踏まえ、本市においては、本計画を変更することにより、市民の愛着と誇り（シビックプライド）と幸福感（Well-being）を大切に、このまちが人とともに成長し、このまちならではの活きた風景を未来に引き継げるよう、オール岐阜で官民一体となったまちづくりに取り組んでいきます。

2. 計画の目的

(1) 景観基本計画とは

本計画は、岐阜市景観条例第6条に基づき「良好な景観の形成を総合的かつ計画的に進めるため、その形成に関する基本的な方向を明らかにするもの」として策定するものです。

(2) 計画の対象地域

本計画の対象とする地域は、岐阜市全域とします。

(3) 計画の期間

本計画の期間は、おおむね10年間とします。

なお、社会情勢の変化、新たな課題等にも柔軟に対応するため、必要に応じて計画期間内に本計画の見直しを行います。

(4) 官民連携による計画の推進

本計画においては、岐阜市景観条例に定める役割や責務を踏まえ、「市民」、「事業者」及び「市」が連携して推進します。

(5) 持続可能な開発目標（SDGs）の理念の推進

平成27年に、国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」に基づき、緑を活用したまちづくりにおいても、経済・社会・環境における持続可能な取組を推進していく必要があり、SDGsの達成が期待されています。

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは

2015年9月に全193の国連加盟国の合意により決められた2030年を達成の期限とする国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残されない」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）

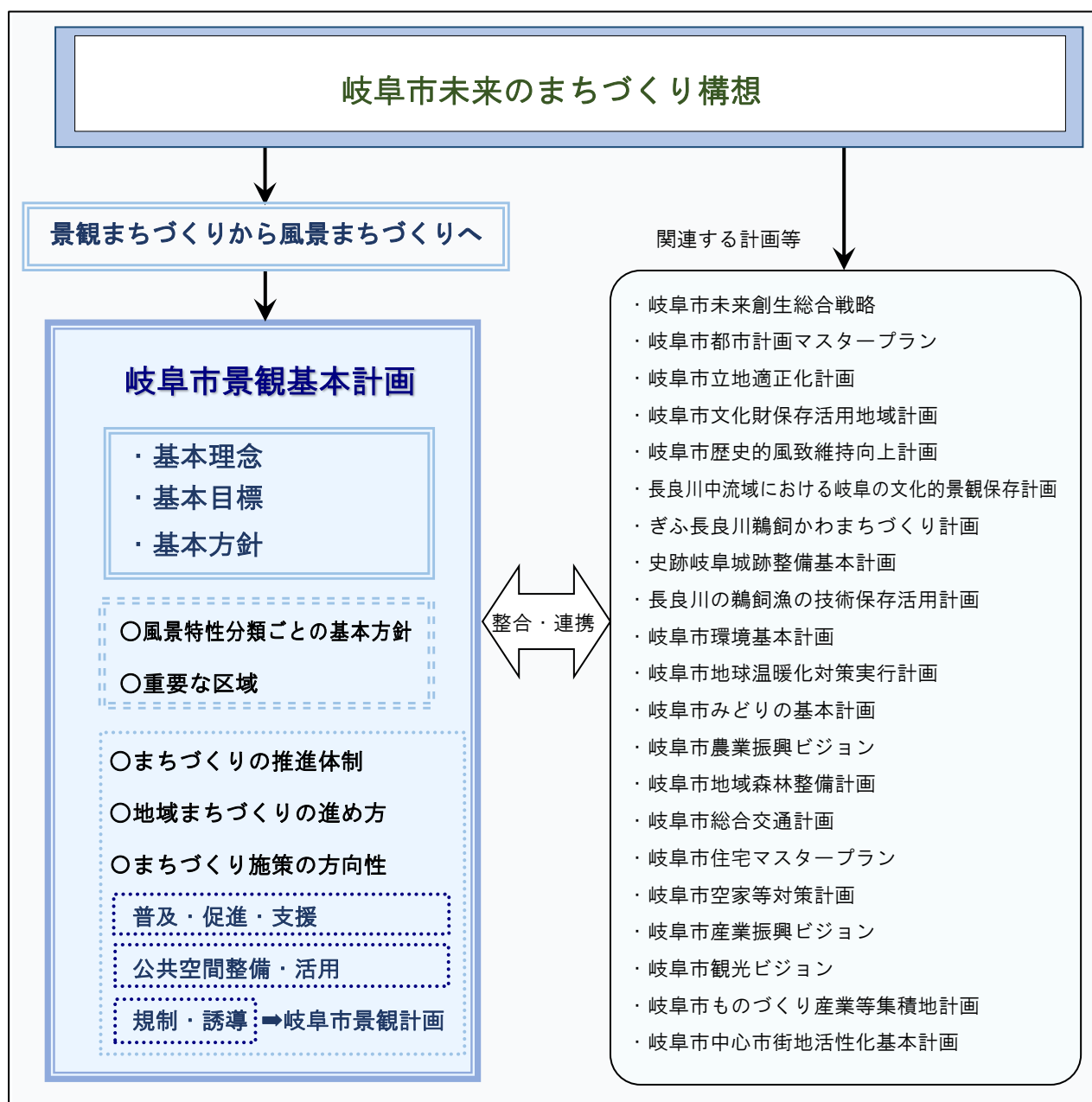
出典）国際連合広報センター

3. 計画の位置づけ

本市は、令和4年に、2040年頃の将来像を見据え、まちづくりの総合的な方針である「岐阜市未来のまちづくり構想」を策定しました。

本計画は、「岐阜市未来のまちづくり構想」に基づき、「岐阜市未来創生総合戦略」や「岐阜市都市計画マスタープラン」、「岐阜市文化財保存活用地域計画」、「岐阜市歴史的風致維持向上計画」、「長良川中流域における岐阜の文化的景観保存計画」、「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」など関連する計画と整合し、連携のとれた計画とします。

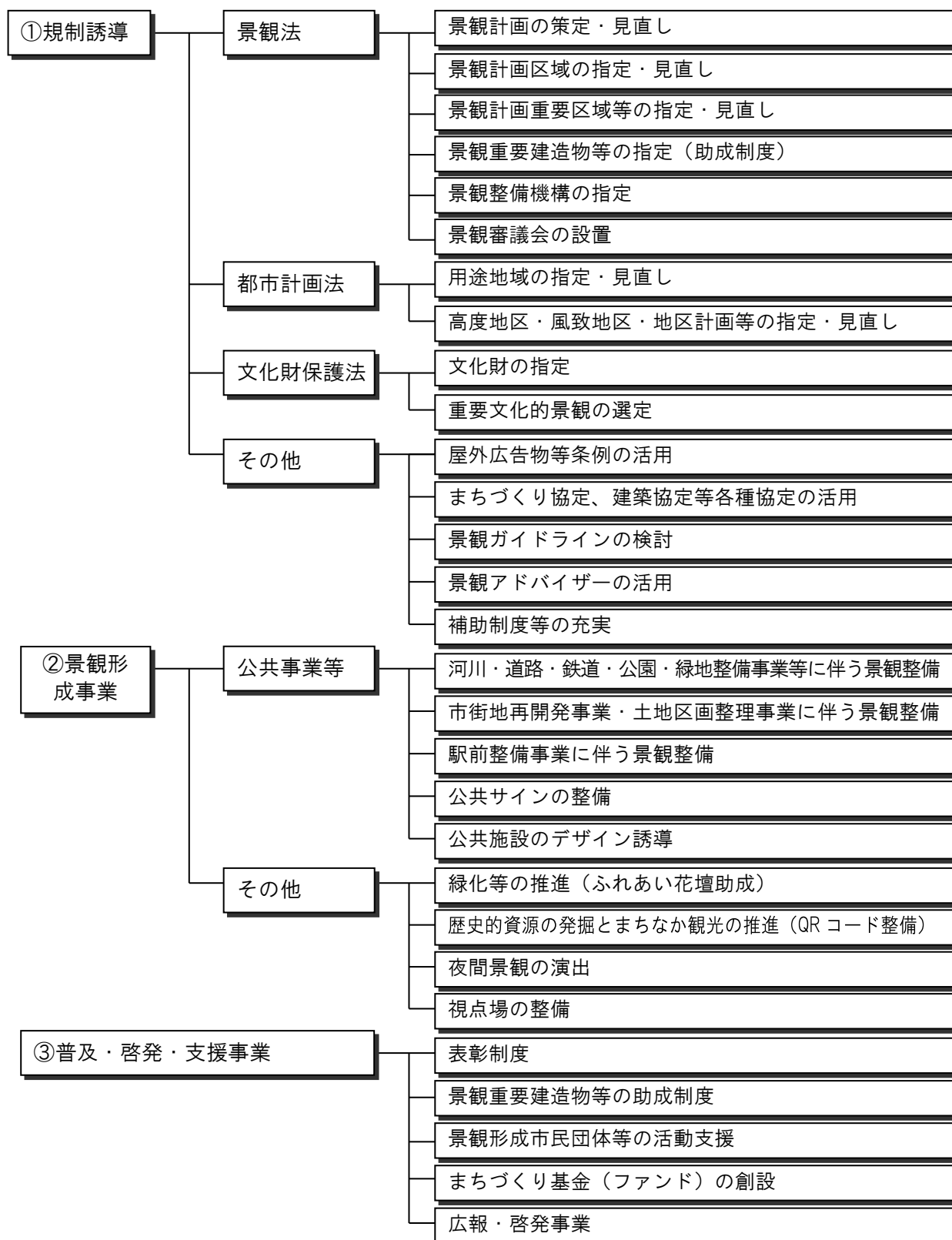
このように、「岐阜市未来のまちづくり構想」における本市の将来像「人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち」を目指し、景観まちづくりの第2ステージとなる風景まちづくり分野の個別計画の方向性や施策を、横断的にとりまとめ、オール岐阜の体制で中長期的な風景まちづくり施策を総合的かつ戦略的に展開していきます。



4. 計画の施策体系

岐阜市景観基本計画に基づくこれまでの取り組み

本市の良好な景観形成を図るため、諸制度を活用し、景観に影響を与える個別の開発行為や建築活動を規制誘導する施策、景観形成の先導的役割を担う公共施設の整備や景観形成に関する事業の実施、市民の景観に対する意識を高めるための普及啓発等の取り組みを行ってきました。



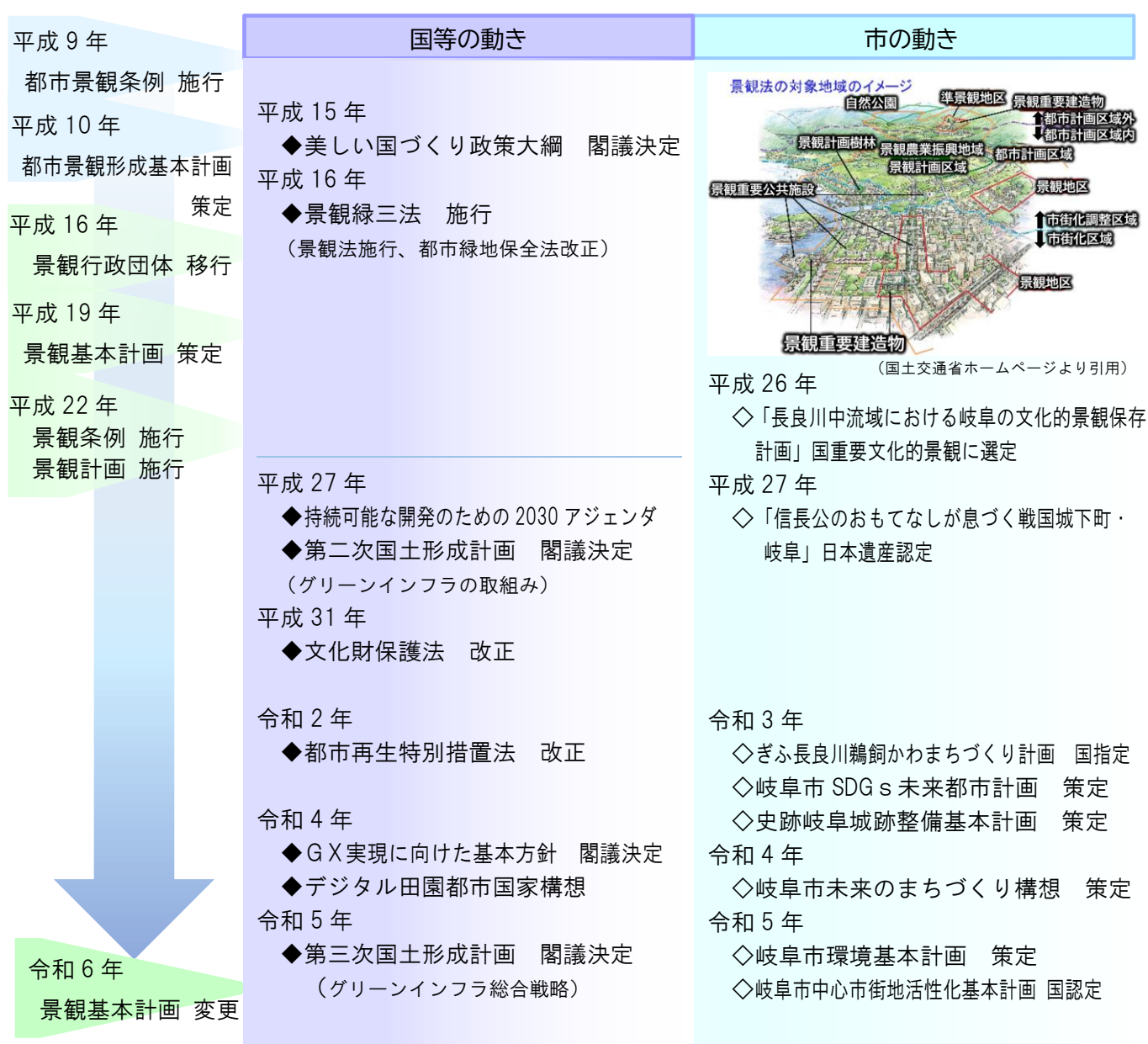
5. これまでの経緯

本市は、平成 9 年に岐阜市都市景観条例を施行、平成 10 年に岐阜市都市景観形成基本計画を策定以降、都市景観に資する建築物や市民活動助成・支援など様々な施策を展開してきました。

我が国においては、平成 15 年に「美しい国づくり政策大綱」が発表され、社会資本整備の方向性を「美しい国づくり」に転換することが宣言され、平成 16 年には「景観法」が施行され、風土や地域の個性を活かす、良好な景観づくりが行われるようになりました。これを受け、本市は、平成 19 年に岐阜市景観基本計画を策定し、平成 22 年に岐阜市景観条例及び岐阜市景観計画を施行することにより規制誘導や景観形成事業を通して、美しい景観を未来に引き継ぐまちづくりを進めてきました。

また、世界に目を向けると、平成 27 年に、国連加盟国の合意により、2030 年を達成期限とする国際社会の共通の目標として、「持続可能な開発目標（SDGs）」が示されました。

近年、人口減少や超高齢社会の進展など社会経済情勢の変化に伴い、持続可能な社会に向けたまちづくりが求められるなか、本市がより選ばれる都市になるための方策の一つとして、風景まちづくりの取り組みがますます重要になってきています。



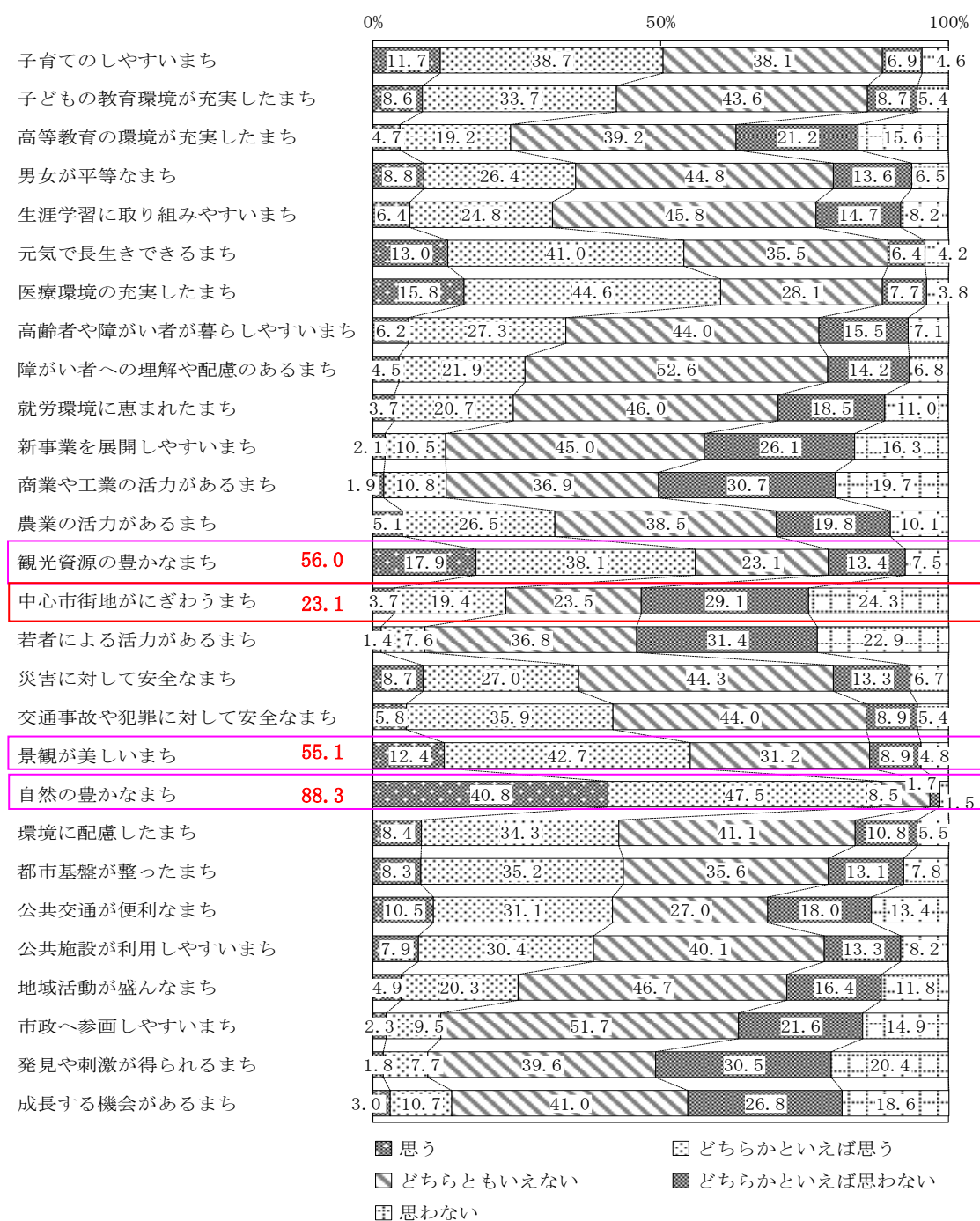
6. まちづくりに関わる市民意識

令和5年度市民意識調査

岐阜市に対するイメージとして「自然の豊かなまち」、「観光資源の豊かなまち」、「景観が美しいまち」を挙げる市民が多いことがわかります。ここ数年は、「中心市街地がにぎわうまち」が高まってきています（「思う」、「どちらかといえば思う」の合計割合は令和5年度：23.1％※、令和4年度：16.3％、令和3年度：16.1％）。

※「思う」、「どちらかといえば思う」の割合を赤字で示しています。

岐阜市に対するイメージ間の比較



トピック：選ばれるまち岐阜 出所：2024年中部圏版 LIFULL HOME'S 住みたい街ランキング

買って住みたい街（駅）ランキング＜岐阜＞1位

借りて住みたい街（駅）ランキング＜岐阜＞1位

7. 各種調査結果

○名水百選

環境庁（現環境省）が、全国各地の湧水や河川の中から水質・水量、周辺環境（景観）、親水性の観点からみて、保全状況が良好なこと、地域住民等による保全活動があること等を条件に選定を行った「名水百選」に、昭和 60 年 3 月、長良川（中流域）が選出されています。



○残したい日本の音風景 100 選

環境庁（現環境省）が、全国各地で人々が地域のシンボルとして大切に、将来に残していきたいと願っている音風景を募集し、日本の音風景検討会の審査をもとに、音環境を保全する上で特に意義があると認められるものを選定しており、平成 8 年度に、鶴匠の「ホウホウ」というかけ声や船頭が舟端を「ドンドン」とたたく音など、長良川の鶴飼の音風景が選ばれています。



○美しい日本の歴史的風土 100 選

財団法人古都保存財団が、次世代に継承すべき美しい日本の歴史的風土が良好に保存されている地域を全国から公募し、選定を行った「美しい日本の歴史的風土 100 選」に、平成 19 年 2 月、信長天下統一の拠点の城下町と中山道の宿場町が選ばれています。

○岐阜の宝物～じまんの原石～川原町界限（岐阜公園周辺地域）

岐阜県から平成 19 年度、「飛騨・美濃のじまんの原石」に川原町界限が選定されました。長良川鶴飼乗船場から西へ続く格子戸のある古い街並み、通称「川原町」には、岐阜うちわや老舗の和菓子店、町家を利用した飲食店などがあります。



○川の通信簿

国土交通省が国民を対象に、全国の河川空間の親しみやすさの評価を行った「川の通信簿」において、平成 21 年度に、「長良川プロムナード」、「高橋尚子ロード」が三つ星（普通）の評価を受けています。



○岐阜の宝物～じまんの原石～岐阜城パノラマ夜景

岐阜県から平成 22 年度、「飛騨・美濃のじまんの原石」に岐阜城パノラマ夜景が選定されました。平成 22 年度に選定されました。金華山と岐阜城は、岐阜市のシンボル。標高 329m の頂上から眼下に広がる 360 度の美しい夜景を見るために、県内外から多くの人が訪れます。



第2章 岐阜市の風景特性

1. 岐阜市の風景形成の背景

本市の風景を形成する要素の基盤となる地形地質、気候、水系、植生などの自然的・地理的環境、それらを基に培われてきた人々の営み、伝統、文化、都市形成史など歴史的背景を整理します。

(1) 自然的・地理的環境

本市の地形は、西北から南東に伸びる標高 300mに及ぶ岐阜～各務原山地が連なり、市中央には標高 329mの金華山がそびえ、北東から南西にかけて雄大な清流長良川が貫流し、市街地から緑豊かな山々や美しい清流を眺められます。

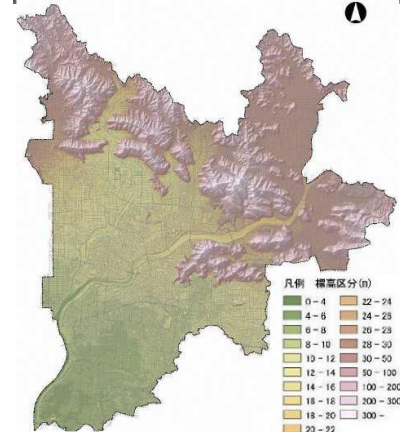
一方、長良川等が砂礫を運搬、沈降して形成した平野部への出口にひろがる扇状地を中心に市街地が形成され、その下流側は氾濫原と旧河道が残した自然堤防が分布しています。

昭和の始めまで長良川の長良橋～鏡島間は古々川、古川、井川の3本に分かれて流れていましたが、古々川は、枯れていることが多く、また、古川も河原が多く、原野のようになっていました。

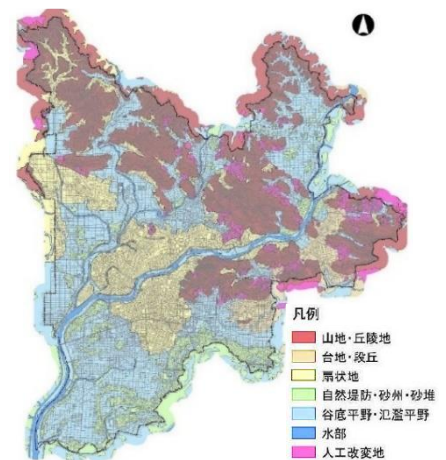
この河川敷を有効に活用するために、古川、古々川を締め切り、井川の川幅を拡げ、堤防を強くするための工事が昭和初期に行われました。これにより、川の北側には広大な開発地が得られ、岐阜メモリアルセンターや住宅地が形成されています。

また、長良川は岐阜市内において天井川となっているため、ひとたび氾濫すると多くの水害が起こり、人々の生活を苦しめていました。そのため、則武や島、加納地区では、洪水から集落や農地を守るために周囲に堤防をめぐらした輪中が発達しました。現在では治水事業が進み、必要性がなくなった輪中堤の多くは姿を消しましたが、一部に残る輪中は当時の生活を伝える特徴的な風景を形成しています。

さらに、陸上交通が発達するまでは、長良川を利用した舟運が発達し、要所には川湊ができ、基幹的な輸送手段として、上下流域を結びつけていました。特に、岐阜の旧中川原は、近世以降大量の物資の集散地となり、岐阜町の発展を支えてきました。



岐阜市域における標高区分
「長良川中流域における岐阜市文化的景観
保存調査報告書」より引用



岐阜市域における地形区分
「長良川中流域における岐阜市文化的景観
保存調査報告書」より引用



昭和初期までの長良川の川筋



岐阜メモリアルセンター



萱場稻荷神社に残る島輪中堤

(2) 歴史的背景（都市形成）

○旧石器～古代～中世～近世

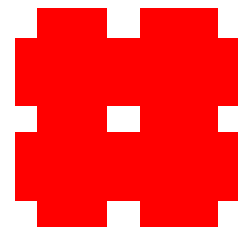
旧石器時代には、岐阜市域の微高地や周辺の山麓に人々が住み始めました。縄文・弥生時代には、ほぼ市全域に先人たちの営みは広がっていき、平安時代には、東大寺領の広大な荘園が市南部におかれ、室町時代には、土岐氏が革手城を築き権勢を誇っていました。

戦国時代には、道三・信長が登場し、岐阜は要都として全国に名が知られることとなりました。1567年、稲葉山を急襲し、一挙に占領した織田信長は、天下布武を唱え、ここを拠点に天下統一の道を歩み始めました。

信長は、井ノ口を岐阜と改め、通行・営業税の免除、出入自由という有名な楽市楽座を設け、全国から人や物を集め、城下町を商工業の盛んなまちへと発展させていきました。

1600年、関ヶ原合戦の前哨戦となった東軍の総攻撃により、岐阜城は陥落し、徳川家康は岐阜城を廃止し、軍事・交通の要所として新たに加納城を築城しました。その後、岐阜町は尾張徳川領に、加納町は加納藩の城下町として、また、中山道の宿場町、商工の町として発展の道を歩んできました。

江戸時代から名勝地として知られた長良川のほとりには、松尾芭蕉が鶺鴒見物に訪れたこともあり、岐阜の印象や風景を詠みつづった句碑が数多く残されています。



「井ノ口」の井をイメージした市章

○近代～現代

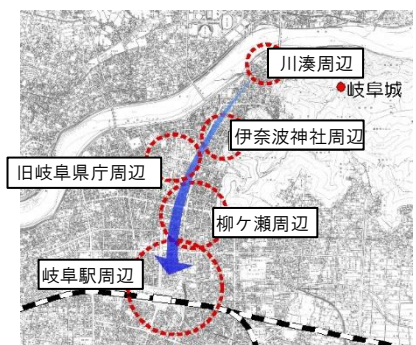
明治4年の廃藩置県により、岐阜県庁が現在の笠松町に置かれたのち、岐阜町に隣接する今泉村に移り、岐阜は県都として発展していきます。当初岐阜の中心は水運により栄えた川湊周辺でしたが、県庁移転に伴い、伊奈波神社周辺、官庁街へとその中心が移行しました。その後も、まちの広がりに伴い、柳ヶ瀬周辺に賑わいが生まれ、明治21年には東海道線岐阜駅が開業し、以降、岐阜駅を中心に繁華街が広がっていきました。このように、市街地の中心が南下してきた経緯より、戦国時代から現代に至るまで、様々な時代を物語るグラデーションのあるまちの風景を形成しています。

大正、昭和初期には、日本人でただ1人ロダンのモデルになった女性の花子が晩年24年間を岐阜市で過ごしており、ロダンの手による花子のマスクや写真、資料等が残されています。また、大正10年には、川端康成が初恋の人を訪ねて3度岐阜の地を訪れており、そのときのことが篝火、非常、南方の火等の短編小説に描かれ、当時の岐阜をイメージすることができます。

昭和20年7月の空襲で岐阜市街のほとんどが焼失しましたが、戦後直後には、岐阜駅前に古着の商店ができ、繊維問屋街が形成され、東京、大阪に並ぶ既製の一大産地として発展しました。柳ヶ瀬も焼け残った映画館をいち早く再建する等、復興が目覚しく、瞬く間に全国的に有数の繁華街となりました。今でも柳ヶ瀬周辺には、路地を中心に昭和の雰囲気のあるレトロな風景が残されています。

昭和30年には、長良川鶺鴒用具が国重要有形民俗文化財に指定され、同年、金華山ロープウェイが開通、翌年に岐阜城の再建と、本市は観光都市として発展してきました。

また、本市は戦後の大合併により市域をさらに拡大し、高度成長期には、松籟や三田洞等で団地開発が進められるとともに、島地区や則武地区等で区画整理が行われ、市街地を拡大していきました。



市街地の中心の遷移

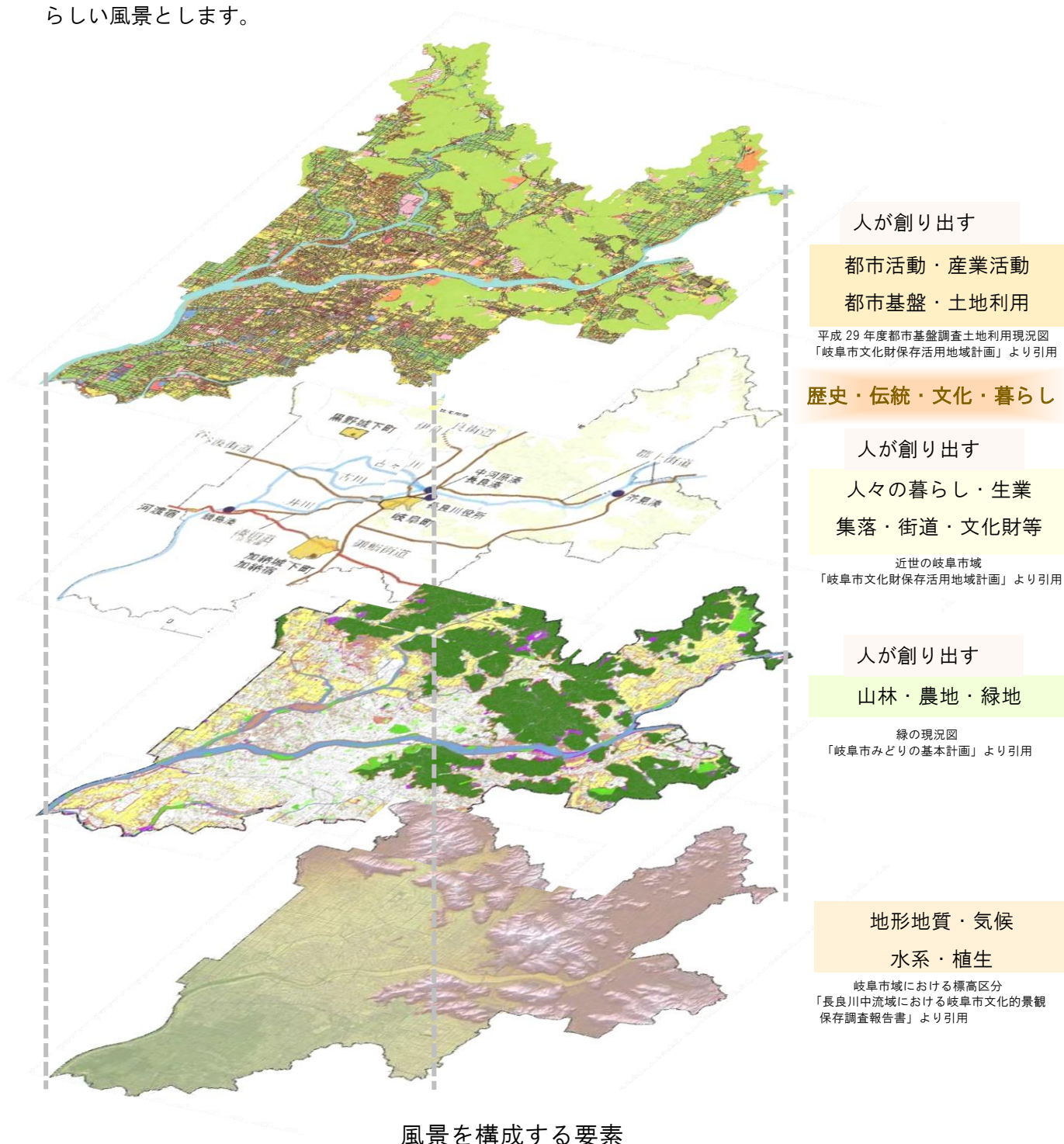


柳ヶ瀬本通り（昭和5年頃）

2. 要素の定義づけ

風景要素の定義

本市の風景は、地形地質、気候、水系、植生、山林・農地・緑地などの自然的・地理的環境が素地となり、その上に、人々の暮らしや生業を通じて集落、街道、文化財、歴史的文化的建造物など地域固有の資源が積み重なり、歴史・伝統、文化・暮らしが溶け込み、さらに近代の都市活動や産業活動を通じて建築物や、橋、鉄道、道路など都市基盤、土地利用が形成され、それぞれが融合しながら構成されています。このように、気候風土などに根差した人々の生活や営みそのものが活きた風景であり、多様な人々のさまざまな活動や交流、共助、共生がまちの魅力ある風景を醸し出すなど、人が創り出す文化・暮らしが風景に彩を与えています。こうした風景を岐阜らしい風景とします。



これらの風景を形成する要素の基盤となる地形地質、気候、水系、植生などの自然的・地理的環境、また、土地利用、人口動向、産業などの社会的状況、それらを基に培われてきた人々の営み、都市形成史など歴史的背景により整理し、本市の風景特性を把握した上で、岐阜市らしい風景を構成する一つひとつの風景資源を「風景要素」としてとらえ、「自然・環境」、「歴史・伝統」、「都市」の3つの風景要素に分類し、それぞれの風景要素を定義づけします。



3. 要素別の特性

(1) 自然・環境の風景要素

①山地・里山

○岐阜市の風景の骨格を形成する山地

長良川以北には御望山・城ヶ峰・百々ヶ峰が、また長良川以南には金華山・舟伏山・権現山といった山々がそびえ、市街地から眺望できます。

また、北方には飛騨山脈や両白山地が、西方には伊吹山地や養老山地がひかえ、近くの山並みと遠くの山並みが一体となった風景をつくっています。



市北部の山並み

○市民の共有財産・シンボルである自然豊かな金華山

清流長良川と山頂に岐阜城を頂く緑豊かな金華山の風景は、本市のシンボルともいえるかけがえのない財産です。金華山は岐阜市を象徴する山として全国的にも有名で、江戸時代には天領、明治以降は御料林、昭和に入り国有林や風致地区や鳥獣保護区として保護されてきたことから、シイ・カシ林やシダ類の群落、絶滅危惧種であるヒメコウホネ等が自生しており、モリアオガエルやコクロオバボタルが生息しています。市街地に本物の自然が残る全国的にも珍しい風景特性を有しており、金華山と北側を沿うように流れる長良川、市街地が織り成す様々な風景を楽しむことができます。また、山頂には戦国の歴史を伝える岐阜城があり、市街地を一望することができます。



長良川と金華山と市街地

○里山と集落が織りなす風景

北部の丘陵地は、里山的要素の強い自然環境を有しており、特に出屋敷周辺は雑木林が多く残されており、美しい里山風景となっています。

山麓には人々の営みにより育まれ、暮らしに潤いを与える田園や里山の風景がみられます。



山県北野の里山

○森とふれあい、体験する山林風景

市内最高峰である百々ヶ峰一帯に広がるながら川ふれあいの森は、緑豊かな里山の自然とふれあいながら、森林浴や自然散策などを楽しみ、潤いと安らぎを与えてくれる施設として親しまれています。森の音楽会や森林教室等を通じ、市民が自然とふれあいながら、森林の持つ多面的な機能を体験することができます。また、地域のまちづくり協議会では、里山の自然環境保全活動に取り組んでいます。



森の音楽会



森林教室



里山の自然環境保全活動

②河川

○岐阜を代表する美しい河川風景

長良川は、四季折々、刻一刻と表情を変え、様々な情景を楽しむことのできる空間となっています。

また、天井川となっており、堤防からは川面がより近くに見え、身近に感じられます。

名水百選に選ばれているほか、全国で唯一、清潔な水浴びのできる河川として日本の水浴場 88 選にも選ばれており、アユやサツキマスが生息し、1300 年以上の歴史あるぎふ長良川の鵜飼が繰り広げられる舞台となっています。

さらに、高橋尚子ロード等のジョギングコースが整備されており、都市部での貴重なオープンスペースとして、市民が憩える、潤いある風景を呈しています。



長良川



ぎふ長良川の鵜飼



高橋尚子ロード

○人々に潤いや安らぎをもたらす川に親しむ風景

長良川右岸プロムナードエリアにて開催される長良川夜市、長良川かわべのじかんマルシェは、飲食の提供および雑貨などの販売を通し、川に親しんでいただくマルシェイベントとなっております。

また、長良川鵜飼棧敷は、飲食と芸舞妓の舞を嗜んだのちに、鵜飼を観覧するイベントとなっております。



長良川夜市



長良川かわべのじかんマルシェ



長良川鵜飼棧敷

○河川にふれあい、親しむ風景

長良川以外にも南部に流れる境川をはじめ、伊自良川・鳥羽川・新荒田川等、約 40 本の長良川の支流があり、山紫水明の美を創出しています。

市街地内の特に住宅の密集する場所を流れる小河川・水路では、コミュニティ水路等の親水空間が整備され、子どもからお年寄りまで多くの市民がふれあう風景を創出しています。



鮎の駅・清水川

○特殊堤や陸閘等水防活動にかかわる河川風景

家屋が密集し堤防用地の確保が難しい長良橋付近では、河川断面を確保するため、通常の堤体とは異なる構造の特殊堤が作られ、練積玉石張が連続する特徴的な風景を創出しています。鵜飼屋や川原町等一部の市街地は河川の中である堤外に立地して、古いまちなみと一体となった河川風景を創出しています。

長良川の堤防には、城の石積みイメージした玉石積みや、長良川の水位が基準値を超えた場合、市街地への溢水を防ぐために閉鎖される陸閘^{りっこう}があり、特色ある風景となっています。古来より川は度々洪水を引き起こし、人々は集落と耕地を守るため、堤防や輪中をつくりました。

現在の風景は、このような自然との関わりの中で恩恵を受け、ある時は戦いながら生活を営んできた証左といえます。また、市内では、古くから水害による被害を最小限に食い止めるため、地域住民から構成される水防団により水防活動が行われています。



特殊堤



大宮陸閘



岐阜市水防連合演習

③樹木・緑地

○自然や歴史・文化とふれあう風景

市内には国指定天然記念物の中将姫誓願桜をはじめ、数多くの巨木、古木があり、保存樹と保存樹林に指定されています。これらは地域の緑のランドマークになっています。

市内に点在する神社の社寺林や市街地内の樹林地は、市民の身近な緑として親しまれ、自然と共生した風景を創出しています。

社寺境内林や塚、古墳、八幡山など歴史・文化を伝える緑は、都市や地域の個性を彩る重要な緑といえます。これら現存する緑について適切な保全、継承に努めるとともに、自然や歴史・文化とふれあう地域資源として活用を図ります。



中将姫誓願桜



真長寺

○街路樹による季節感あふれる風景

本郷町通りのケヤキ並木（国土交通省「緑陰道路プロジェクト」のモデル地区指定）、伊奈波通りのシダレザクラ、金華橋通りのアメリカフウ等の街路樹は、季節感あふれる連続した緑のシンボルとなっています。本郷町通りのケヤキ並木においてはケヤキ祭りや清掃活動が行われるなど地域の愛着と誇りを育んでいます。



本郷町通りのケヤキ並木



伊奈波通りのシダレザクラ

④農地

○農地と集落が織りなす田園風景

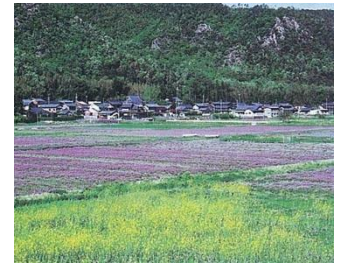
農地の約 7 割が水田で米づくりが中心となっており、市郊外部では、荒田川、板屋川、伊自良川といった主要河川周辺に、日本の原風景ともいえる、のどかな田園風景が広がっています。

カキ、ナシ、ブドウといった果樹園は御望山、城ヶ峰の山裾に多く、雄総ではハウス栽培のぶどう園が広がっています。彦坂付近には、果樹園と小川が一体となった昔ながらの田園風景が今も残っています。

また、長良川と伊自良川にはさまれた島・鷺山・則武地区には、イチゴ、エダマメ、ダイコンといった野菜をつくる畑が広がっています。

郊外の平野部には、土地改良を基盤とした農家と畑地、生け垣等が一体となった田園風景が広がり、安食や彦坂の山裾には畑や坂道等変化に富んだ田園・里山集落風景が広がっています。

さらに、周辺農地にも住宅地が拡大し、農地と宅地が混在した風景を創出しています。



田園風景



田園・里山集落風景

○人々の営みにより育まれ、暮らしに潤いを与える田園風景

国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な風景の形成等農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者や地域住民などが一体となって取り組む多面的機能支払交付金制度の活動が行われています。この活動を通じて、農地や農業用水路の維持保全を図るとともに、ホタルの保全や遊休農地を活用したコスモスやヒマワリの植栽、生き物調査など、農地周辺の風景や環境の保全、意識の向上を進めています。



農地の維持保全

(2) 歴史・伝統の風景要素

①史跡・文化財

○本物志向の歴史文化を伝える史跡や文化財

岐阜市には、金華山と長良川を背景に、人々の生活とともに培われ、築き上げられてきた悠久の歴史があります。

岐阜城跡には、戦国時代の巨石を利用した通路や石垣、建築物の礎石の一部等が保存されています。また、中山道沿いに残る切通陣屋跡等、市内には数多くの史跡があります。

文化財保護法に基づき、日本三大仏のひとつ岐阜大仏のある正法寺や大智寺の獅子庵等は文化財に指定、登録、選定されています。

江戸時代から名勝として知られた長良川のほとりには、松尾芭蕉や山口誓子、川端康成等多くの文化人が訪れており、岐阜の印象や風景を詠みつづった句碑等が残されています。



岐阜城跡



伊奈波神社

これらは長い年月にわたり、先人のたゆまない努力によって生み出され、受け継がれたものであり、先人のものの考え方や感じ方、その生活文化を知ることのできる貴重な文化遺産として、独特の風景を創出しています。

加納城跡は、国指定文化財に指定されており、本丸や周辺で行われた発掘調査では、石垣や堀の跡が見つかっています。このように、地域の歴史や文化と深く関わりがあり、歴史的資源を活かした魅力向上が望まれます。



加納城跡



岐阜大仏



獅子庵



美江寺（美江寺観音）

②街道・渡し

○歴史、伝統が溶け込んだ佇まいや趣きのある旧街道筋等

市内には、江戸幕府が設けた五街道の一つである中山道があり、道すじは、現在の高田（長森）から上川手・加納・本荘・鏡島を経て、河渡に至るおよそ 12km となっていました。

このうち、加納・河渡には宿場があり、加納宿は美濃最大（中山道 67 宿のうち 5 番目の大きさ）の宿場として栄え、河渡宿は小さいながらも長良川に面し、重要な位置にある宿場であり、河渡祭りが行われています。また、他の脇街道も岐阜を中心に放射状にのびていました。

長良川には兩岸を結ぶ多くの渡しが発達し、鏡島弘法の北側には、対岸の一日市場と結ぶ小紅の渡しが現在も運行されています。船上からの眺めは美しく、昔ながらの渡船の風景が残されています。

江戸時代、長良川の鵜飼によりとれた鮎でつくった鮎鮓を江戸幕府に献上する際、その運搬に使われた御鮎街道（尾張街道・岐阜街道）は、美しい日本の歩きたくなるみち 500 選に選ばれており、歴史建築物と現代的な建築物が混在した風景が創出されています。



中山道



小紅の渡し



加納天満宮



御鮎街道



細畑の一里塚

③歴史的な建造物

○積み重ねられてきた歴史、伝統が息づく歴史的な建造物

市内には、かつての城下町や街道沿いに古くからの建築物が残されており、歴史的な資源として市民や観光客等に親しまれています。

特に、川原町には、濃尾震災や太平洋戦争の空襲等の被害にあわなかったため、江戸時代、明治時代の格子組、黒漆喰の商家町家がそのまま残り、現在に至っています。景観重要建造物に指定された建造物も多く、屋根神様やばったり等を備え、地域の特徴的なまちなみが残っています。



川原町の町家



屋根神様



ばったり

④伝統行事

○伝統行事等の長良川流域の文化的景観

長良川で繰り広げられている鵜飼は、ウミウを飼いならして鮎等の川魚をとる漁法で、約 1300 年の歴史と伝統を持ち、世界的にも知られており、岐阜市の夏の風物詩となっています。金華山を背景に、清流長良川を 6 隻の鵜舟が篝火をたきながら川面を下ってくるさまは壮観であり、多くの観光客を魅了しています。

また、岐阜と加納、2 つの町の盛大な祭礼として、伊奈波神社の例祭である岐阜まつり、加納天満宮の例祭加納天神祭りが行われています。

これらは、地域の人々が生活や生業の中で育んできた文化的景観であり、岐阜の風土を理解する上で欠くことができないものとなっています。



ぎふ長良川の鵜飼



岐阜まつり



加納天神祭り

⑤人々の暮らしや生業

○人々の暮らし、生業、文化が息づく地域資源を活かした「文化的景観」

鎌倉～室町時代的美濃国守護・土岐氏や守護代・斎藤氏には、鷹の絵、和歌などの文芸に秀でた者が多く、戦乱を避けて集まった京の文化人を革手城下に迎え、和歌や連歌、詩文、猿楽の会が多数催すなど、美濃の地に先進の文化を広めました。道三・信長の城下町でも人々が行き交い、茶の湯等の文化や技術が伝えられました。醒睡笑^{せいすいしょう}を著し、落語の祖と呼ばれる岐阜の僧侶・安楽庵策伝^{あんらくあんさくでん}もこの時代に活躍した人物です。

こうしたことを素地として、訪問者をもてなす鵜飼観覧や遊宴文化など、岐阜ならではの文化が醸成されていきました。複数の領主が統治した江戸時代、鵜飼は一般人も楽しむようになり、長良川の舟遊びから船上の遊宴文化が生まれ、鵜飼から生まれた小唄風折烏帽子^{かざおりえぼし}等が継承されています。

また、手力雄神社の氏子旧 13 カ村による手力雄神社火祭り、三輪神社の氏子旧 14 カ村での領主が異なる村々が協力して一つの祭りを行い、繋がりを深めていきました。

三輪神社の例祭である三輪祭りの主たる部分をなす三輪神社稚児山の芸能は、神社境内に作られた舞台状の置山^{かつこまい}で稚児たちが鞆鼓舞を舞う芸能として、市の無形民俗文化財に指定されており、舞そのものだけでなく、それを支える民俗性豊かな古くからの取り決めや習慣が残されています。ほかにも、葛懸神社^{かつらがけ}で行われる奇祭池ノ上みそぎ祭りや大龍寺の灯籠まつりなど、多彩な文化を通じ、地域の誇りと絆を育んでいきました。



船上の遊宴文化



手力雄神社火祭り



三輪祭り



稚児山の芸能



池ノ上みそぎ祭り



大龍寺の灯籠まつり

⑥地域の祭事や行事

○地域の祭事や行事が育んできた風景

鮎供養は、毎年 7 月 16 日に神明神社で長良川まつりとともに行われ、長良川河畔の神明神社で鵜匠をはじめとする関係者による供養が行われた後、鮎の放流が行われます。また、鵜飼終了後の最初の日曜日に鵜匠をはじめとする関係者で鵜供養が鵜塚で営まれます。そのほか、観覧船の安全運航祈願のほか、三重塔、鳥居をかたどった、提灯船がお披露目されます。

また来る日に思いをはせる岐阜の冬の風物詩こよみのよぶねは、長良川右岸プロムナード一帯において、暦を表す巨大数字行灯 12 個と開催年の干支を示す行灯が屋形船に乘せられ、冬至の日^{しとせ}に金華山の麓の長良川を流れます。幻想的な景色を見ながら、過ぎ行く時を振り返り、また来る日に思いをはせる岐阜の冬の風物詩です。



長良川まつり



鮎供養



鵜供養



こよみのよぶね

⑦地域の活動

○人々の活動や交流から生まれる風景

緑化推進事業では、体験教室を通して花の栽培、生育に係る知識の普及を図る花飾り講習会の開催、緑化等の普及啓発活動に資する市民活動に対して講習会、交流会等を支援しています。



フローラリー岐阜



花飾り講習会



自然観察会

コミュニティバス等運営協議会では、コミュニティバスの運行を推進しています。地域のまちづくり協議会では、環境保全などさまざまな地域活動が行われており、イベント等を通して地域の絆づくりを進めています。また、市民活動に対しては、まちづくりの担い手を生み出し、協働で担う新たな公共を促進するための支援を行っています。岐阜版アダプト・プログラムでは、市民と協働で快適な公共空間の創出・管理を進めています。



コミュニティバスの運行



里山の整備活動



里山の体験活動

黒野城と加藤貞泰公研究会は、郷土の誇りである黒野城及び城主加藤貞泰公にスポットライトをあて、その保存とPR活動を目的に市民活動登録団体として発足しました。活動としては、黒野城の歴史を発掘し、地域の未来へ繋げる事業を実施しています。



黒野城跡

(3) 都市の風景要素

①道路

○都市の骨格を形成する道路

岐阜市と周辺地域との交流連携に向けて、環状線とこれに接続する放射道路により形成される幹線道路ネットワークが岐阜市の骨格となり都市を形成しています。

道路には様々な機能がありますが、土地利用規制にあわせて、沿道では様々な道路風景を呈しています。

地域高規格道路である岐阜南部横断ハイウェイ（国道 21 号）は、市内において一部高架道路となっており、風景を構成する上で視認性の高い道路となっています。

主要幹線道路である主要地方道や県道は、交通量も多く、沿道の土地利用とあわせ、様々な道路風景を形成しています。

また、市街地内の生活道路は、市民の日常生活に密着した生活空間となっています。



岐阜南部横断ハイウェイ



金華橋通り

○特色ある道路風景

長良川の堤防は、大規模自転車道を併設した特色ある道路となっています。また、美しい岐阜の夜景が一望できる金華山ドライブウェイや、美殿町通りのような賑わいのある界限、昔から岐阜市民に娯楽街として愛されてきた柳ヶ瀬の通り等、本市が有する特色ある道路風景が形成されています。



長良川の堤防

②鉄道・駅

○岐阜都市圏の玄関口にふさわしい新しい顔づくり

岐阜駅周辺においては、風土と歴史を語りかける岐阜駅北口駅前広場、岐阜駅西地区に岐阜シティ・タワー43、その隣に岐阜スカイウイング 37 がツインタワーを形成し、岐阜駅東地区には岐阜イーストライジング 24 が完成するなど、新たな風景を形成しています。多様で高次の都市機能のさらなる誘導を図るため、岐阜駅北中央東及び中央西地区第一種市街地再開発事業が進められており、多くの人々を迎える岐阜都市圏の玄関口にふさわしい新たな賑わいを創出するとともに、圏域全体が持続発展するためのエンジンとなるセンターゾーンの推進力、まち全体の魅力、潜在的な価値の向上を目指しています。



岐阜駅周辺



岐阜駅北口駅前広場

③住宅地

○安心、安全、快適な暮らしをささえる多様なまちなみ

市内には、郊外農地と一体となった古くからの集落や中心市街地及びその周辺に広がる土地区画整理事業により整備された市街地、山裾に新しく開発された住宅団地等、それぞれ地域固有の成り立ちのなかで形成されてきた多様な市街地が広がっています。

戦災復興による土地区画整理事業が行われた市街地中心部では、宅地形状が整形され、一定の道路幅員が確保されたまちなみとなっています。一方、戦災をまぬがれた金華地区や戦前に土地区画整理事業が行われた市街地周辺の住宅地では、比較的幅員の狭い道路に建物が密集したまちなみとなっています。

また、基盤整備のされないまま、宅地化が進行した不正形な街区を形成している既成市街地では、狭幅員道路沿いに家屋が密集し、低未利用地への無秩序な開発が行われた風景を形成しています。

さらに、高度経済成長期を経て山裾に造成された三田洞団地や大洞緑団地等の郊外の住宅団地では、山を背景にした住宅地風景が形成されており、清眺台等風致地区内の住宅地では、ゆとりある敷地と豊かな緑が山地風景に溶け込んだ住宅地風景を形成しています。

まちなか居住ニーズの高まりから、中心市街地及びその周辺地区や長良川沿いでは、マンション等も増え、立体的な風景が形成されています。

空き家増加に伴うまちの活力や、管理されていない空き家の老朽化による安全性の低下や景観形成上の問題に対して、官民連携による取り組みが行われています。



郊外の住宅団地



風致地区内の住宅地



長良川沿いに立地するマンション

④商業地

○商店街で広がるリノベーションまちづくり

柳ヶ瀬商店街等は全国有数のアーケードを有し、多くの大型店舗が集積した求心性の高い地域でしたが、大型店舗の撤退と郊外への大型店舗の出店などにより、商業機能の空洞化が進展しました。

そのようななか、商店街アーケードのある道路上において、まちのファンづくりを目的としたサンデービルディングマーケットが開催されており、毎回 5000 人が来街するまでに発展しています。

また、レトロ感に魅力を感じられるビルの空き区画をリノベーションし、アパレルブランドやサンデービルディングマーケットの出店者、イラストレーターやアーティストなどが新規出店した、ロイヤル 40（ヨンマル）や老舗喫茶店を継承し喫茶・菓子事業として再生したサロン・ドマルイチの取り組みなど遊休不動産や公共空間の新しい使い方により、それまでにはない魅力あるコンテンツが生まれ、目に見える形でリノベーションまちづくりが進められています。



サンデービルディングマーケット



ロイヤル 40



サロン・ドマルイチ

○人中心の活きた魅力ある公共空間の風景

まちなかには、多くの公共空間や民間のオープンスペースがあり、これらをより活きた空間・魅力的な空間としていくことが重要です。その取り組みのひとつとして、金華橋通りでトランジットモールに合わせて、車道の一部を歩行者空間として、沿道の施設や店舗と連携して、キッチンカーでの飲食を楽しみ、人工芝やクッションなどでゆっくりとくつろぎ、電動キックボードなどで遊べる道路空間の新たな活用方法を模索しています。



金華橋ストリートパークライン

また、セントラルパーク金公園では、まちとまちをつなぎ、多くの市民が憩い、うるおう空間へをコンセプトとし、令和5年3月のリニューアル以降、多くの方が公園を利用されています。

都心部における広大な芝生広場は緑の拠点となり、地域主導のイベントやマルシェが開催されるなど、新たなにぎわいを創出しています。

玉宮通りにおいては、建物を道路境界からセットバックした空間にベンチや植栽を設置するなど、緑豊かで、歩きやすい、駅から柳ヶ瀬をつなぐ多彩な表情を味わえる道路空間が形成されています。



セントラルパーク金公園

玉宮通り

○岐阜駅周辺エリアの活力と魅力ある風景

岐阜駅周辺では、市街地再開発事業等による都市開発が進められており、オフィスや店舗、福祉施設、居住機能を備えた新たなまちなみが形成されています。



岐阜駅北口周辺



名鉄岐阜駅周辺



織維問屋街

○ロードサイド型・郊外型の商業地

環状線や幹線道路沿道では、多様な商業施設や大規模小売店舗等の立地が進んでおり、ロードサイド型商業空間としての風景が形成されています。

郊外部では、大規模なショッピングセンターや専門店街、シネマコンプレックス等が集積しており、大規模な駐車場を備えた大規模集客施設風景を創出しています。



ロードサイド型商業空間



郊外の大規模集客施設

⑤橋

○周辺環境と一体となり特色ある風景を創出する橋梁

市内に数多く流れる河川には、中心市街地と郊外を結ぶ多くの橋が架けられています。これらの橋は時代によって工法やデザインも様々であり、河川や周辺の市街地、背景の山地と一体となり、地域ごとに特色ある風景を創出しています。

また、長良川に架かる橋からの見晴らしは素晴らしく、周辺の山並みや長良川とまちの広がり眺めることのできる重要な視点場（眺望点）となっています。



長良大橋



金華橋



忠節橋



鵜飼い大橋

⑥公園・緑地、広場

○快適な生活環境と多様な交流を創出する公園・緑地

市内には、岐阜ファミリーパークや岐阜公園などの総合公園をはじめ、地区公園や近隣公園、街区公園などの都市公園や緑地、広場（以下、「公園緑地等」）を市内各地に整備しており、快適な生活環境を支える緑の空間を形成しています。

都市公園は、公園の付近に居住する者の利用に供する住区基幹公園や市全域の住民の利用に供する都市基幹公園の大きく2つに分類されます。

これらの公園は、立地や規模等に応じて、スポーツ・レクリエーションの場や、人々の交流の場、豊かな自然環境を楽しむ場など、各公園の特徴を活かした公園づくりをしています。

また、公園緑地等の多くが災害発生時における指定緊急避難場所に指定されており、防災公園としての機能を有するなど、地域の安全・安心な暮らしを支える重要な役割を担っています。

さらに、公園緑地等が、街路樹や河川などと結びつき、水と緑のネットワークを形成するなど、自然と共生した美しい風景形成の創出に寄与しています。

長良公園では、周辺の園児による花植え体験や、高校の吹奏楽部によるメタセコイアの森コンサートの開催などを通じ、緑に親しみ、憩いながら、緑化意識の向上を図っています。

また、都市公園以外に、ポケットパークや、市街地内を数多く流れる水路や川を利用したコミュニティ水路が整備されており、都市の中に潤いをあたえています。



岐阜ファミリーパーク



清水緑地



境川緑道公園



長良公園



⑦拠点施設

○地域の風景を特徴づける公共施設等

岐阜市の主な官公庁施設は、つかさのまちを中心としたエリアと、岐阜県庁や岐阜県警察本部、県民ふれあい会館等を中心としたエリア、国道 21 号沿いの複合業務エリアがあり、風格のある風景を創出しています。

教育施設としては、市内各地区に小学校や中学校、高等学校が立地しており、地域に密着した施設として親しまれています。大学は岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学、岐阜保健大学、岐阜女子短期大学、平成医療短期大学があり、地区の核となる風景を創出しています。

特に岐阜大学は、御望山や城ヶ峰を背景に田園地帯に白い校舎群が立ち並び、地区の風景を創り上げています。

大規模な文化施設としては、長良川国際会議場やぎふ清流文化プラザ、岐阜市文化センター、岐阜市市民会館、岐阜県庁周辺の岐阜県図書館、岐阜県美術館、岐阜市科学館等があり、個性的な文化施設風景を形成しています。

また、岐阜市文化センターでは、南側壁面のショーウィンドーを利用した街並ギャラリーにおいて、市内中学校の美術作品展等を開催しており、市民にやすらぎや親しみをもたらしています。

スポーツ施設では、世界イベント村として国際的、全国規模の大会・イベント開催の可能な総合スポーツ施設である岐阜メモリアルセンター、長良川スポーツプラザをはじめとして、岐阜ファミリーパーク、市民総合体育館、北西部運動公園等があり、拠点となる風景を形成しています。

コミュニティ施設としては、市内の各地区にコミュニティセンター、公民館が立地しており、多くの市民に利用されています。特に岐阜市消防本部（防災センター）、長森コミュニティセンター等は、風景的にも優れた建物となっています。



岐阜県庁



岐阜大学



岐阜薬科大学



岐阜メモリアルセンター

○産業活動を支える業務施設

市南西部は高速道路や国道、幹線道路のアクセス性の良さから、岐阜流通業務団地や、柳津地区ものづくり産業集積地として製造業の工場が立地した独特の風景を形成しています。



岐阜流通業務団地

○本物志向の観光まちづくり

長良川や金華山の美しい自然や鶺鴒、特色ある祭り等、数多くの観光資源を有する本市は、観光地として発展してきており、長良川と金華山を眺望することのできる長良川河畔には、数多くの宿泊施設が立地し、観光地としての風景を形成しています。

国史跡岐阜城跡の山上部においては、往時の城郭景観の復元に向けた発掘調査と遺構の保護を行いながら、山麓部においては、Park-PFIによる飲食物販施設の整備など、さらなる魅力向上を図り、来訪者のおもてなし空間を創出します。

様々な魅力を新たに掘り起こすとともに、既存資源の活用による魅力の再発見につなげ、魅力を創造し、来訪者を温かく受け入れるおもてなしや効果的なプロモーション、マーケティング活動などにより観光まちづくりを推進します。



長良川河畔の旅館街



長良川河畔の屋形船



岐阜城跡

○多様な人々や世代の交流や活動から生まれるシビックプライドを育む施設

知、絆及び文化の拠点からなる市民活動や多文化交流など複合文化施設みんなの森ぎふメディアコスモスをはじめ、スポーツ等を通して市民の交流、健康増進や心身の健全な発達を図る市民スポーツ交流センター、生涯学習の拠点となる各地域のコミュニティセンター、公民館など多様な人々や多世代が利用する施設が市内各地に分布しており、交流やふれあう風景を形成し、市民の愛着と誇りを育んでいます。



みんなの森ぎふメディアコスモス



市民スポーツ交流センター

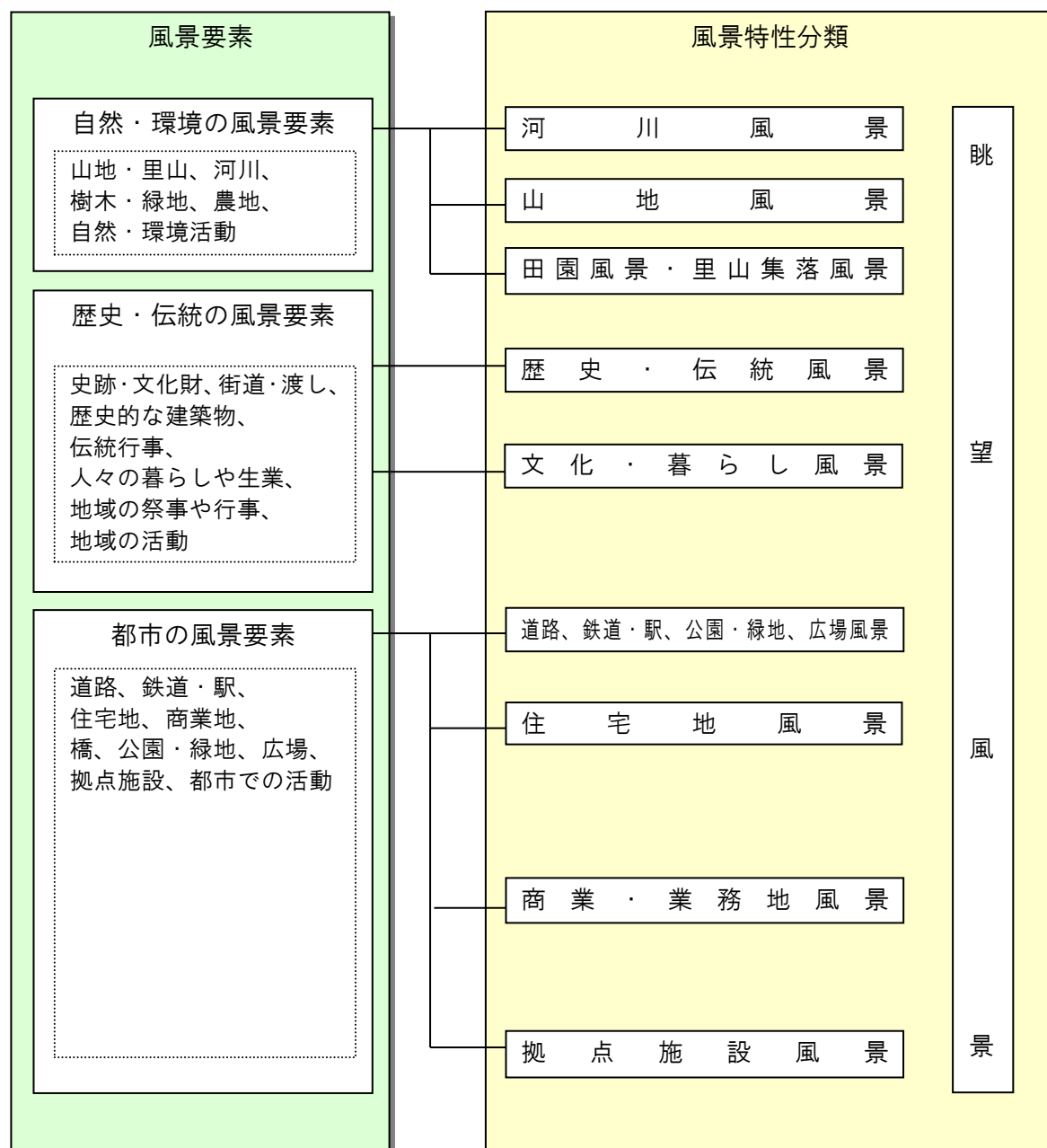


コミュニティセンター

4. 岐阜市の風景特性分類

岐阜市の風景を構成する自然・環境、歴史・伝統、都市の風景要素を大きく分類すると、自然・環境の風景要素は河川風景、山地風景、田園風景・里山集落風景に、歴史・伝統の風景要素は歴史・伝統風景、文化・暮らし風景に、都市の風景要素は道路風景、鉄道・駅風景、公園・緑地風景、広場風景、住宅地風景、商業・業務地風景、拠点施設風景に分類できます。

さらに、長良川や金華山、北部の山並みや、歴史的なまちなみ、市街地などが融合した眺望風景の観点をそれぞれの風景に盛り込みます。



【眺望風景（主な眺望のイメージ）】



長良川と金華山、岐阜城を眺める眺望



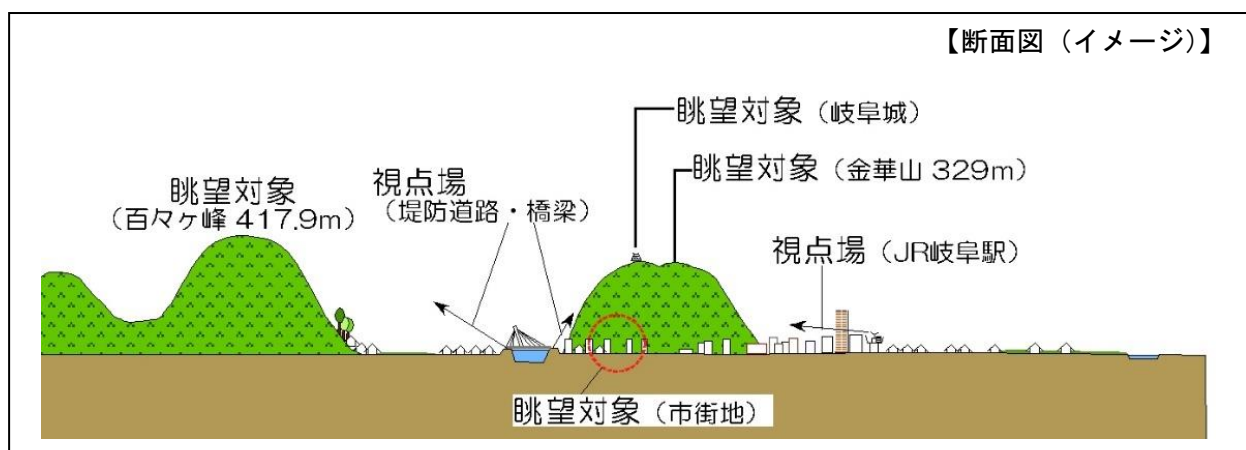
岐阜城天守を眺める眺望



旧城下町から金華山を眺める眺望



金華山から旧城下町を眺める眺望



1. 基本理念

「岐阜ならではの活きた風景を未来に」

本市は、長良川、金華山に代表される緑豊かな自然環境や岐阜（現在の金華地区）・加納のふたつの城下町として発展してきた歴史や文化、人々の生活や営みの基盤となる建築物や橋、道路等が重なりあい、「自然・環境」、「歴史・伝統」、「都市」が調和した多彩で魅力的な風景特性を有しています。

このような美しい風景を、岐阜市民共通のかけがえのない資産として未来に引き継ぎ、心が和み、心に感じることでできる岐阜ならではの活きたまちづくりを積極的に行っていきます。

また、他の都市にはない地域特性、岐阜らしさを活かした人とともに成長するまちづくりを進めていくことは、市民の Well-being（幸福感）やシビックプライド（愛着や誇り）を高揚し、まちの魅力やエリアの価値を向上していくことにもつながります。

未来に向けて、視覚的な美しさとともに、地域固有の自然や歴史、人々の日常の営み、文化がまちの表情としてあらわれ、安らぎや潤い、愛着や誇り、人々の温もりにより心も体も健康で人や社会との豊かなつながりが得られることを真の幸福としてとらえた、魅力と活力ある都市づくりに向けて、基本理念のもと、活きた風景の形成に取り組んでいきます。

本市の特性を活かし、人々の日常の営みを大切に“活きた風景”を創出します



関連計画

岐阜市未来創生総合戦略／岐阜市都市計画マスタープラン／岐阜市立地適正化計画／
岐阜市歴史的風致維持向上計画／岐阜市文化財保存活用地域計画／岐阜市環境基本計画／
岐阜市みどりの基本計画／長良川中流域における岐阜の文化的景観保存計画／
ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画／岐阜市中心市街地活性化基本計画／岐阜市総合交通計画 等

岐阜市の風景特性

風景形成の背景

自然的・地理的環境、歴史的背景

岐阜らしい風景
自然・環境
歴史・伝統
都市

市民意識

岐阜市のイメージ

豊かな自然

美しい景観

豊かな観光資源

中心市街地がにぎわうまち

風景特性分類

岐阜市景観基本計画

基本理念

岐阜ならではの活きた風景を未来に

基本目標

自然・環境が活きる風景 ／ 歴史・伝統が再生する風景
都市が進化・発展する風景 ／ 地域の資源を活かした風景

基本方針

緑豊かな美しい自然環境が活きた風景を創る
時空を超えた本物の歴史が息づいた風景を創る
新時代を予感させる伝統と先進が融合する風景を創る
岐阜を動かし、岐阜都市圏を牽引する未来の風景を創る
市民の愛着と誇り、多様なふれあいが生まれる風景を創る

風景特性分類ごとの基本方針

重要な区域

まちづくりの推進体制

まちづくりの進め方

まちづくり施策の方向性

(普及・促進・支援／公共空間整備・活用／規制・誘導)

2. 基本目標

本市には、長良川や金華山をはじめとした美しい「自然・環境」や道三公・信長公を語る岐阜城等の「歴史・伝統」、柳ヶ瀬や岐阜駅周辺等の進化・発展する「都市」としての顔があります。これらの岐阜らしい風景を保全・創出するうえで重視すべき「自然・環境」、「歴史・伝統」、「都市」をキーワードとして基本目標を定めます。

また、これらの風景を市民や来街者が心で感じることでできるまちの形成は、市民が岐阜への愛着や誇りを持ち、その地域でしか感じることでできない音やにおいなども含めた多彩な地域資源を十分に活かし、市民や事業者が主体的に風景づくりに取り組んでこそ実現できることから、「地域の資源」をキーワードとして目標を定めます。

基本目標1 自然・環境が活きる風景

市民共有の財産である長良川や金華山、里山や農地と集落に、人々の営みが織りなし、人々の心に潤いや安らぎをもたらす、緑豊かな美しい自然環境が活きた風景の創出を目指す



基本目標2 歴史・伝統が再生する風景

岐阜に息づき、人々の暮らし、生業、歴史、文化が積み重なり、歴史的、文化的佇まいや趣きのある、建築物やまちなみ、文化財等を活かしながら、歴史・伝統、文化・暮らしの彩る風景の創出を目指す



基本目標3 都市が進化・発展する風景

県都として岐阜圏域全体の発展を推進するエンジンであり、多様な都市機能・生活機能が立地するセンターゾーン等において、魅力ある顔づくりや人中心の活きた公共空間の創出、先進技術の活用、多様な人々の交流や活動の促進により、岐阜らしさを感じることのできる未来の風景の創出を目指す



基本目標4 地域の資源を活かした風景

地域の誇りとなる魅力的な空間形成に努めつつ、地域資源との調和を図り、地域や市民等が主役のまちづくりを行うことで、真に市民がシビックプライドを感じ育み、Well-being に満ちた風景の創出を目指す



3. 基本方針

基本理念、基本目標を踏まえ、本市全体の風景形成を図るうえでの基本的な考え方として基本方針を設定します。

緑豊かな美しい自然環境が活きた風景、時空を超えた本物の歴史が息づいた風景、新時代を予感させる伝統と先進が融合する風景、岐阜を動かし、岐阜都市圏を牽引する未来の風景、市民の愛着と誇り、多様なふれあいが生まれる風景の 5 つの風景創出を基本方針として設定し、真に市民がシビックプライドを感じ育み、Well-being に満ちた風景の創出を目指します。

なお、基本方針の設定にあたっては、これまで先人によって守り、育てられてきた風景を、人とともに成長しながら次の世代へと継承し、未来の風景としてさらに守り育て、積極的に創りあげていくことが、岐阜市民にとっての役割であるという認識から、未来へ向けた取組み姿勢を「創る」という言葉で表現しています。

コラム

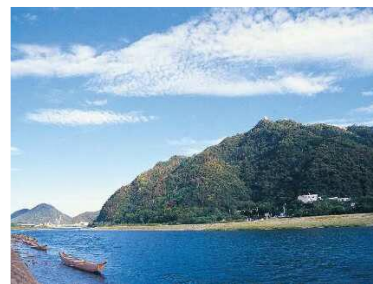
＜風景まちづくりと“風景画”＞

画家の世界で、19 世紀に人を消して絵画にした風景画が描かれたといわれています。

道や伐採されている木などの風景画では、人がいなくても、人の気配を感じることができると思います。風景まちづくりと風景画ともに、人の存在を感じることで、味のある風景となるのではないのでしょうか。

基本方針1 緑豊かな美しい自然環境が活かした風景を創る

- ・長良川や伊自良川、金華山や百々ヶ峰等市民共有財産の緑豊かな美しい自然風景の保全、創出、活用
- ・潤いと安らぎのある、豊かな自然環境の中で、人々が憩い、ふれあえる多様性ある河川、山地環境風景の保全、形成
- ・農地や里山と集落、人々の営みが織りなす田園風景、里山集落風景の保全、活用
- ・長良川や金華山、北部の山なみ等人々が眺望を楽しめる風景の保全、創出



基本方針2 時空を超えた本物の歴史が息づいた風景を創る

- ・山麓の往時に想いをはせる岐阜城の石垣や人々の営みを彷彿させる町家のまちなみなど歴史が息づく風景の創出
- ・岐阜、加納城下町、中山道、宿場町等に息づき、人々の暮らしや生業、歴史、文化が溶け込み、歴史的佇まいや趣きのある風景の創出
- ・岐阜城や長良川鵜飼等の本物志向の歴史・文化資源と歴史的、文化的地域資源の発掘、活用
- ・長良川や金華山、歴史的まちなみが一体となった文化的風景の創出



イメージであり変更となる場合があります

基本方針3 新時代を予感させる伝統と先進が融合する風景を創る

- ・人々の暮らしや生業、歴史、文化など地域に息づく資源を活かすリノベーションまちづくりによる個性に彩られた風景の創出
- ・多様性と新時代を予感させる伝統と先進が融合する風景の創出・まちなかのオープンスペースを活かした魅力的な空間の創出
- ・ここにしかない時間の過ごし方をつくり、日常的に訪れたい、時間を消費したくなる魅力ある風景の創出



基本方針4 岐阜を動かし、岐阜都市圏を牽引する未来の風景を創る

- ・未来の岐阜の発展を牽引する岐阜駅周辺の新しい顔づくり
- ・居心地が良く歩きたい人中心の公共空間活用による魅力ある活きた風景の創出
- ・先進技術の活用により未来のまちの交通環境を先導する風景の創出
- ・クリエイティブな人々の交流によるイノベーションが生まれる風景の創出
- ・ワークダイバーシティによる働く場づくりと活力ある産業風景の創出



イメージであり変更となる場合があります

基本方針5 市民の愛着と誇り、多様なふれあいが生まれる風景を創る

- ・人々の多様なふれあいから生まれる、市民の愛着と誇りを育む風景の創出
- ・拠点施設を活かした人々の活動や交流による魅力的な風景の創出
- ・人々の安全、安心、快適な暮らしを支え、周辺環境に調和したまちなみ創出
- ・子ども、若者、女性に優しく、健全で社会的に自立できる風景の創出
- ・多様な世代や人々が集まる、地域コミュニティと共助、共生社会を育む風景の創出



4. 風景特性分類ごとの基本方針

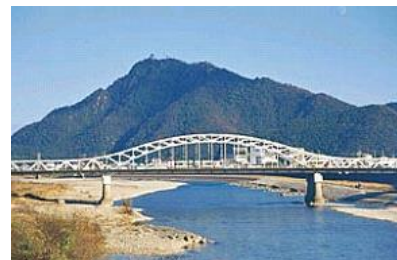
(1) 自然・環境の風景

①河川風景

長良川や伊自良川等岐阜市の骨格を形成する自然豊かな美しい河川風景の保全・活用を図るとともに、市街地に潤いと安らぎを与える河川空間の創出を図ります。

○岐阜を代表する美しい河川風景の保全・創出

- ・長良川は、岐阜を代表する自然環境の一つとして、自然の美しい河川風景の保全を図ります。
- ・長良川の鵜飼や小紅の渡し等風情のある文化的な河川風景の保全を図ります。
- ・特殊堤や陸間、橋梁等、岐阜ならではの特徴的な河川構造物のある河川風景の保全を図ります。
- ・特に、岐阜県近代化遺産となっている忠節橋や長良橋、鵜匠と手縄をイメージして造られたシンボリックな鵜飼い大橋等、周辺環境と調和した橋梁風景の保全を図ります。



長良川と忠節橋と金華山

○自然豊かな河川風景の保全・創出

- ・アユやサツキマス、特別天然記念物のオオサンショウウオ等の生物が生息する長良川の豊かな自然環境の保全と、堤防の樹林地等の適正管理等による自然豊かな河川風景の保全を図ります。
- ・伊自良川や板屋川といった田園地域を流れる北部の河川は、自然の河畔として保全を図ります。
- ・ホタルや鳥・小動物等が生息する自然生態系に配慮した、河川風景の保全を図ります。



達目洞の自然

○潤いと安らぎ・楽しみのある河川空間の創出

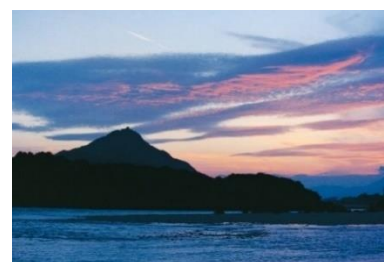
- ・市民が身近に水に楽しむことのできる親水性の高いふれあいの場や自然観察の場等の創出を図ります。
- ・市街地を流れる河川や水路においては、潤いと安らぎを感じることのできる水辺風景や親水空間の復元・創出を図ります。
- ・川が持つ本物の魅力を活かし、その自然に親しむ河川空間の活用による魅力ある風景の創出を図ります。



鮎の放流体験

○眺望風景の保全・創出

- ・岐阜市を代表する長良川や金華山、北部の山なみを眺望するのに適している長良川周辺において、美しい眺めをゆったりと楽しむことのできる眺望風景の保全を図ります。
- ・橋梁、堤防道路等からの美しい眺望風景の保全を図ります。
- ・朝夕等の表情、四季折々の表情等、時間や季節感を楽しむことのできる美しい眺望風景の保全を図ります。



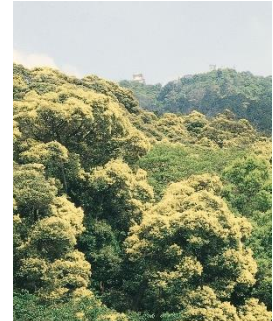
長良川と金華山

②山地風景

市民の共有財産・シンボルである金華山・百々ヶ峰等岐阜市の骨格を形成する緑豊かな美しい山地風景を保全するとともに、自然地形を生かした眺望風景の保全・活用を図り、人々が潤いと安らぎを感じることのできる山地風景の創出を図ります。

○緑豊かな美しい山地風景の保全・活用

- ・長良川や伊自良川、金華山や百々ヶ峰等市民共有財産の緑豊かな美しい山地風景の保全・創出・活用を図ります。
- ・自然林や二次林、人工林等の植生状況に応じた森林の適正な維持管理により、サクラやツブラジイ、各種落葉樹等、四季折々の山の顔を楽しめる山地風景の維持・保全を図ります。
- ・金華山、百々ヶ峰等の樹林の保全や自然生態系への配慮、山地の無秩序な開発を抑制により、自然豊かな山地風景の保全を図ります。



ツブラジイ

○潤いと安らぎ・楽しみのある山地空間の創出

- ・クアオルト健康ウォーキングにより岐阜ならではの風景や豊かな自然を感じて楽しみながら、健康づくりのできる山地風景の保全・創出・活用を図ります。
- ・潤いと安らぎや生物生息など人々が憩い、ふれあえる多様性ある山地環境風景の保全・創出を図ります。
- ・ながら川ふれあいの森や岐阜ファミリーパーク等、市民が身近に山と親しめるふれあいの場の創出と自然を生かした山地風景の創出を図ります。
- ・金華山ドライブウェイや登山道、遊歩道等、山の景色を楽しむことのできる場の創出を図ります。



ながら川ふれあいの森
クアオルト健康ウォーキング

○眺望を楽しめる風景の保全・創出

- ・金華山や百々ヶ峰、市北部の山なみ稜線等、人々が眺望を楽しめる岐阜ならではの風景の保全を図ります。
- ・歴史的建築物や長良川等の自然と一体となった山なみを望む眺望風景の保全・創出を図ります。
- ・伊吹山等、市外にある山地の眺望風景の保全を図ります。



百々ヶ峰

③田園風景・里山集落風景

都市近郊にあつて市民に潤いと安らぎをもたらす身近な自然環境を保全するとともに、農地や里山と集落が織りなす美しい田園風景・里山風景の創出を図ります。

○農地や里山と集落がおりなす美しい田園風景・里山集落風景の保全・活用

- ・農地や里山、屋敷林、小川等の自然と集落、人々の営みが織りなす田園風景、里山集落風景の保全、活用を図ります。
- ・里山や集落部における屋敷林や鎮守の森及び集落家屋の適正な維持・保全を図ります。
- ・美しい田園地域においては、田園と調和した居住空間の創出を図ります。



果樹園の広がる田園風景

○人々の営みにより育まれ、暮らしに潤いを与える田園や里山の風景の保全

- ・エダマメやハウレンソウ、ダイコン畑等、岐阜ならではの農地風景の保全を図ります。
- ・農業用水路や農業用ため池、耕作地等の適切な維持管理に努め、畑や平地に広がる水田風景等、優良な原風景の保全を図ります。
- ・里山や集落部における屋敷林や鎮守の森及び集落家屋の適正な維持・保全を図ります。
- ・美しい田園地域においては、田園と調和した居住空間の創出を図ります。



水田風景



美しい田園地域

(2) 歴史・伝統の風景

岐阜の歴史を現代に伝える、文化財、歴史的建造物やまちなみ、眺望風景を保全するとともに、地域固有のいわれや物語等、岐阜に溶け込んでいる歴史の掘り起こしと活用により、時空を超えた本物の歴史が息づいた魅力ある活きた歴史・伝統風景の創出を図ります。



整備イメージ図
(山上部復興天守周辺)

①歴史・伝統風景

○歴史が息づき、伝統・文化が溶け込む本物志向の風景の保全・創出

- ・金華山山上から山麓の往時に想いをはせる岐阜城の石垣や居館跡、人々の営みを彷彿させる町家のまちなみなど歴史が息づく風景の創出を図ります。
- ・岐阜、加納城下町、中山道、宿場町等に息づき、人々の暮らしや生業、歴史、文化が溶け込み、歴史的佇まいや趣きのある風景の創出を図ります。
- ・歴史的なまちなみや旧街道等、歴史資源と調和した建築物や通りの連続する歴史風景の創出を図ります。
- ・重要な歴史的建造物等の継承や点在する歴史・文化資源や社寺林や保存樹等歴史と調和した緑の保全を図ります。



川原町



岐阜城跡（山麓居館滝）



岐阜公園再整備イメージ
イメージであり変更となる場合があります

○自然・歴史・文化資源を活かした魅力ある活きた風景の創出

- ・岐阜城や長良川鵜飼等の本物志向の歴史・文化資源の活用、保全と歴史的、文化的地域源を発掘し、活用を図ります。
- ・岐阜の地に溶け込んでいる歴史や文化の掘り起こしと活用による魅力ある風景の創出を図ります。
- ・鵜飼や祭り等の伝統行事等の保全・活用による地域の個性ある歴史・文化風景の創出を図ります。
- ・岐阜ならではの自然・歴史・文化を感じられ、人々の心に語りかけ魅了する活きた風景の創出を図ります。



鏡島弘法



ぎふ信長まつり



長良川夜市

○眺望風景の保全・創出

- ・ 岐阜城・岐阜大仏等、シンボリックな歴史資源への見晴らしや眺めの保全・創出を図ります。
- ・ ダイナミックに岐阜らしい風景に切りかわる場所や辻及びそこからの眺めの保全・活用を図ります。
- ・ 長良川や金華山等の自然と歴史的まちなみが一体となった美しい眺望風景の保全・創出を図ります。



長良広場からの眺め

○長良川流域の「文化的景観」の保全・創出

- ・ 1300年の歴史を誇るぎふ長良川の鵜飼の舞台であり、鵜飼と流域住民が育んできた「文化的景観」の継承と望ましい風景の創出を図ります。
- ・ 地域における人々の生活または生業や地域の風土により形成された長良川、金華山の自然や鵜飼、歴史的なまちなみ等の景観地として「文化的景観」の保全、創出を図ります。



旧城下町の遠景

② 文化・暮らし風景

○人々の暮らし、生業、文化が息づく資源を活かした風景

- ・ 地域の人々の暮らし、生業の中で育まれてきた地域の祭りや行事など「文化的景観」の創出を図ります。
- ・ 鵜飼観覧や遊宴文化など訪問者をもてなす岐阜ならではの「文化的景観」の創出を図ります。



手力雄神社火祭り

○人々の活動や交流による地域への愛着や誇りと幸福感を育む風景

- ・ 自然環境保全や緑化推進、地域の文化保全などの活動を通じて地域への愛着や誇り、幸福感を育む風景の創出を図ります。
- ・ 多様な地域活動やイベントから生まれる地域の絆づくり風景の創出を図ります。



ミライの参道まるけ

(3) 都市の風景

①道路、鉄道、公園・緑地、広場風景

幹線道路や生活道路等、公園・緑地、広場の機能を確保しつつ、周辺環境や地域特性に応じた快適で美しいまちなみの創出を図ります。

○個性ある道路風景の創出

- ・長良橋通りや金華橋通り、忠節橋通り等は岐阜を代表するシンボル道路として、沿道の適正な土地利用や、橋梁デザインと一体となった建築物やサイン等のデザイン誘導も含め、道路と橋をつなぐ美しい道路風景の創出を図ります。
- ・歴史的地区を通過する道路においては、沿道の歴史的資源の保全・維持・活用を図ります。
- ・旧中山道、御鯨街道等の旧街道については、史跡等の歴史的資源を活用し、歴史性を感じさせる道路風景の創出を図ります。
- ・連続性のある並木道等の創出と街路樹の適性管理により、美しい道路風景の創出を図ります。
- ・フラッグアート等による演出を行い、商店街等の賑わい風景の創出を図ります。
- ・長良川プロムナードや堤防道路、金華山ドライブウェイや百々ヶ峰の遊歩道等、緑豊かな自然風景の楽しめる道路風景の保全・創出を図ります。
- ・周辺環境と調和した秩序ある道路風景の創出を図るとともに、歩行者の安全で快適な通行に配慮した道路風景の創出を図ります。
- ・特に、橋梁、鉄道高架橋、高架道路等については、周辺環境と調和した風景の創出を図ります。



本郷町通りのケヤキ並木



伊奈波通り

○居心地が良く歩きたくなるより活きた魅力ある道路風景の創出

- ・駅周辺や柳ヶ瀬、市役所周辺のつかさのまちなどのエリア間を結ぶ道路を貴重な公共空間と捉え、車中心から人中心の空間へと見直し、人が主役となる魅力ある活きた道路風景の創出を図ります。
- ・主要幹線道路沿いや交差点等のアイスポット等に、無秩序に掲出される屋外広告物や不法占用物を防止し、よりよい沿道風景の創出を図ります。
- ・無秩序に配置された架空電線や歩道にはみ出した自動販売機、放置自転車等、不法占用物、落書きの防止・改善に努めます。



金華橋ストリートパークライン

○未来を先導する風格ある道路風景の創出

- ・質の高い沿道緑化の推進により潤いのある道路風景の創出を図ります。
- ・鉄道駅やバス停、道の駅については、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した道路風景の創出を図ります。
- ・適切な維持・修繕により、安全で快適な美しい道路風景の確保を図ります。
- ・水や緑、オープンスペース等を生かした空間の活用により、住民が親しみのもてる道路風景の創出を図ります。
- ・集落、市街地内において、フットパスやたまり空間等、市民のコミュニティを創出する風景の創出を図ります。



金華橋通り

○眺望風景の保全・創出

- ・堤防道路や国道 21 号、国道 156 号、岐阜環状線等主要な道路や鉄道から眺めた、金華山や北部の山なみ等、市民や来街者が岐阜らしさを感じることでできる眺望風景の保全を図ります。
- ・岐阜駅周辺においては、金華橋通り等、シンボルとなる道路への眺望に配慮した眺望風景の創出を図ります。



長良川堤防道路

○快適な生活環境と多様な交流を創出する公園・緑地、広場風景の創出

- ・本市の豊かな緑の保全や緑化の推進、公園緑地等の適正な維持管理を図ることで、緑を活かしたまちづくりを推進します。
- ・自然と共生した風景の形成を推進します。
- ・快適な生活環境を支える緑の質的向上と再生に取り組めます。
- ・賑わいと交流を引き出す緑の活用に取り組めます。



長良公園

②住宅地風景

まちの成り立ちによって異なる建築物特性・基盤整備特性に合わせ、安全性や快適性に配慮しつつ、地域特性に応じた住宅地風景の創出を図ります。

○まちの成り立ちや地域特性に配慮した住宅地風景の形成

- ・低層住宅・中高層住宅地特性、集落特性、歴史特性等、各地区の特性と調和した住宅地風景の創出を図ります。
- ・中高層建築物等の大規模な建築物・工作物等については、特に、周辺環境・風景との調和に配慮します。
- ・周辺の樹林等の自然や、神社・祠等の歴史と調和した住宅地風景の創出を図ります。



住宅地に佇む寺社

○特色ある住宅地風景づくり

- ・質の高い緑化の推進やゆとりある住宅地づくり等により、潤いのある住宅風景の保全・創出を図るとともに、集落の農家住宅や町家等の適切な維持・保全により特色ある住宅地風景の創出を図ります。
- ・住宅地周辺にある美しい小川や祠、太鼓橋等、地域独自の自然や歴史的資源の維持・保全・活用を図り、特色ある住宅地風景の創出を図ります。



緑豊かな住宅地

○安全、安心、快適な住宅地風景づくり

- ・建築物等耐震化や狭あい道路等の改善、ライフラインの保全、ゾーン 30 プラスの指定など災害や事故のない安全安心な風景の創出を図ります。
- ・超高齢社会に対応し、すべての人にやさしいバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した快適な風景の創出を図ります。
- ・空き家の増加に伴う安全性低下や景観保全のため不良空き家の除却や流通・活用の促進など安全で快適な風景を保全します。
- ・公園や公民館、みち等の公共空間やまつり等伝統的な行事の適切な維持保全により、地域コミュニティを育む風景の創出を図ります。
- ・コミュニティ施設や商業施設等のある地域生活拠点への住宅の集約化やライフスタイルに合わせた、歩いて楽しめるコンパクトな住宅地風景の創出を図ります。



安全、安心、快適な住宅地

③商業・業務地風景

岐阜圏域全体の発展を推進するエンジンであるセンターゾーンにおいては、多様で高次な都市機能のさらなる集積を誘導し、都市の顔として魅力ある空間としての風景の創出を図ります。

各エリアの個性を際立たせながら、ときめきとやすらぎを体感する都市空間の創出を図ります。

市街地再開発事業とリノベーションまちづくりの両輪によって民間投資を誘発するとともに、公共空間の利活用によりエリアの価値向上を図り、多くの人が集まり賑わう、活気に満ちた、個性を彩るまちの風景の創出を図ります。



柳ヶ瀬本通り

○リノベーションまちづくりによる個性彩る風景づくり

- ・人々の暮らしや生業、歴史、文化など地域に息づく資源を活かすリノベーションまちづくりによる新たな魅力ある風景の創出を図ります。
- ・懐かしい昭和レトロなど多様性あるまちなかの文化的な風景を復元・創出するとともに、まちなか観光を楽しむことのできる賑わい風景の創出を図ります。
- ・商いを生業とする人々に支えられ繁栄してきた商業地等においてリノベーションにより個性に彩られた風景の創出を図ります。
- ・多様性のあるまちなかと新時代を予感させる伝統と先進が融合する風景の創出を図ります。



個性を彩る店舗

○選ばれるまちなか暮らしに向けた魅力ある風景づくり

- ・魅力的なまちなかの環境整備を進め、多くの人々にまちなか暮らしが選ばれ、人々が持続的に居住する人中心のより活きた魅力ある風景の創出を図ります。
- ・遊びを通じて子どもの生きる力を養い、次代を担う子どもを育むとともに、子育て家庭を支援する風景の創出を図ります。
- ・あらゆる世代の方々が体を動かして健康に対する意識や知識を育み、運動を通じた健康づくりを支援する風景の創出を図ります。



まちなか暮らし



柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」



柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」

○岐阜都市圏の玄関口にふさわしい岐阜駅周辺の風景づくり

- ・岐阜都市圏の玄関口として、魅力と風格あるまちなみの創出を図ります。
- ・岐阜なるものを語り、未来を先導する県都の顔としての風景の創出を図ります。
- ・来訪者の利便性やユニバーサルデザインに配慮しつつ、質の高い品格ある風景の創出を図ります。
- ・歩行者の回遊性を高め、活気に満ちた魅力あるまちなみ風景の創出を図ります。
- ・多様な世代やさまざまな人々が集まり、交流できるゆとり空間と賑わい風景の創出を図ります。
- ・クリエイティブな人々の交流によるイノベーションが生まれる風景の創出を図ります。
- ・ワークダイバーシティの推進による幸せを実感し、安全安心な居場所や持てる力を発揮できる社会風景の創出を図ります。
- ・多様なライフスタイルやワーク・ライフ・バランスに対応できる労働環境とソーシャルビジネスやコミュニティビジネスなど新たな起業やサービスが生まれる風景の創出を図ります。



岐阜駅周辺



歩行者用デッキ
(岐阜駅北口駅前広場)



岐阜駅北中央東・中央西地区
第一種市街地再開発事業イメージ
イメージであり変更となる場合があります

○センターゾーンの各エリアをつなぐ新たな空間の活力と魅力ある風景創出

- ・センターゾーンにおける個性が際立つ各エリアをつなぐ空間において、官民連携により活力と魅力ある風景の創出を図ります。
- ・本庁舎跡は、柳ヶ瀬エリアとつかさのまちエリアのにぎわいをつなぎ、にぎわいづくりを支える空間の形成の実現を目指し、センターゾーンの魅力の向上を図っていきます。
- ・伊奈波エリアは、岐阜公園周辺エリアとつかさのまちエリアのにぎわいをつなぐ、旧岐阜町の魅力を発信・起業・移住につなげるミライの参道まるけなど、参道のにぎわい風景の創出を図ります。



柳ヶ瀬グラスル35
セントラルパーク金公園



本庁舎跡活用イメージ
イメージであり変更となる場合があります



ミライの参道まるけ

○居心地が良く歩きたくなる人中心の公共空間活用による活きた風景の創出

- ・スマートシティぎふ推進プロジェクトを通じて、先進技術の活用などによる健康的に歩くことができる、歩きたくなる都市空間の形成、誰もが気軽に外出できる移動手段の確保など、出かけたくなるまちの風景を創出します。
- ・BRT や自動運転技術、シェアサイクル等の活用や公共空間の利活用により駅周辺や柳ヶ瀬、つかさのまち、岐阜公園周辺などのエリア間を人々が活動し、交流する空間に再構築し、より活きた魅力的な風景を創出します。
- ・車中心から人中心の空間へと見直し、人が主役となれるよう道路空間をまちづくりに活用する居心地が良く歩きたくなるまちなかの風景創出を図ります。
- ・歩行者の安全で円滑な通行と利便の推進などにより、自然や歴史、文化財、まちなみと一体となり、岐阜らしい風景を楽しむことのできる回遊性や面的広がりのある風景創出を図ります。



長良橋通りのイメージ



GIFU HEART BUS（自動運転バス）



柳ヶ瀬エリアの通りイメージ

○新たな都市開発による活力と魅力ある風景創出

- ・ 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業等による活力と魅力ある風景の創出を図ります。
- ・ 公共空間や道路空間、民有地など、賑わいと交流の緑づくりに努めます。



名鉄名古屋本線鉄道高架化事業整備イメージ及び
加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業整備イメージ
イメージであり変更となる場合があります



壁面緑化（大岐阜ビル）

④拠点施設風景

個性ある拠点施設を活かした人々の活動や交流による魅力的な風景を創出するとともに、周辺環境と調和した魅力的な風景創出を図ります。

○市民の愛着と誇り、多様なふれあいが生まれる交流文化拠点における風景創出

- ・ 人々の活動や交流から生まれる、市民の愛着と誇りを育む風景の創出を図ります。
- ・ 人々の安全、安心、快適な暮らしを支え、周辺環境に調和したまちなみの創出を図ります。
- ・ 多様な世代や人々が集まる、地域コミュニティと共助、共生社会を育む風景の創出を図ります。



みんなの森ぎふメディアコスモス
ぎふ古今（シビックプライドプレイス）

○周辺環境と調和した工業地風景の創出

- ・ 工業団地等においては、田園や住宅等の周辺環境と調和した風景の創出を図ります。



岐阜ぷりんとぴあ

○クアオルト健康ウォーキングにおける健康づくり風景創出

- ・クアオルト健康ウォーキングにより岐阜ならではの風景や豊かな自然を感じて楽しみながら、健康づくりのできる風景の保全・創出・活用を図ります。



百々ヶ峰・ながら川ふれあいの森コース



クアの道・シティ

○子ども・若者総合支援拠点における風景創出

- ・日常生活や社会生活において様々な悩みや困難を有する子ども・若者に対し、その特性、発達段階、生活環境などの状況に応じ、福祉、教育など総合的な支援を行い、福祉向上、健全育成及び社会的自立できる風景の創出を図ります。



子ども・若者総合支援センター
(エールぎふ)

○あんしんつながりステーションにおける風景創出

- ・生活や仕事、子育て等に関する困難や不安を抱えた女性が安心して相談できる風景の創出を図ります。



あんしんつながりステーション

○交通結節点促進拠点における風景創出

- ・JR長森駅周辺地区では、交通結節点促進拠点として一般車やコミュニティバス乗降場、自転車駐車場など交通広場の整備や駅への安全なアクセスを確保するとともに、快適な広場空間を確保し、駅力向上を図ります。



JR長森駅北口交通広場イメージ
イメージであり変更となる場合があります

○みどりと自然に親しみ、市民の憩いの拠点における風景創出

- ・緑豊かな農山村風景を生かし、みどりと自然に親しみ、明日への活力を養う、市民の憩いの場としての風景創出を図ります。



岐阜市畜産センター公園

○学術・研究拠点における風景創出

- ・岐阜大学及び岐阜薬科大学によるライフサイエンス拠点の創出に向けた特長ある新しい風景形成を図ります。
- ・背景に広がる御望山や伊自良川等と一体となった自然豊かな田園風景と調和した風景創出を図ります。
- ・ゆとりある緑豊かな地区環境と高齢者や障害をはじめ全ての人に優しいユニバーサルデザインに配慮した風景の創出を図ります。



岐阜薬科大学

イメージであり変更となる場合があります

○レクリエーション拠点における風景創出

- ・山林や田園等、周辺の緑豊かな自然環境と調和し、安らぎや潤いを感じることのできるレクリエーション空間としての風景創出を図ります。



岐阜ファミリーパーク

○自然・歴史・文化拠点における風景創出

- ・長良川、金華山、百々ヶ峰、鵜飼、岐阜城、古いまちなみ等を活用し、歴史・緑・川を堪能することのできる空間としての風景創出を図ります。



岐阜市長良川鵜飼伝承館
(長良川うかいミュージアム)

○観光・コンベンション拠点における風景創出

- ・岐阜メモリアルセンター等、イベント施設、運動施設、長良川河畔の宿泊施設、歴史的資源や鵜飼等の観光資源を活用し、人々が集う賑わいある世界イベント村ぎふにふさわしい風景創出を図ります。



国際会議場

○岐阜県庁周辺拠点における風景創出

- ・岐阜県庁・OKB ふれあい会館周辺においては、行政機能・人が集まる市の拠点として風景創出を図ります。
- ・西岐阜駅周辺においては、交通結節点としてのバリアフリーに配慮した風景を形成するとともに、地域に根付く歴史・文化を生かし、地域住民が愛着の持てる風景の創出を図ります。
- ・県美術館や県図書館周辺においては、文化・芸術の薫り高く、格調高い風景の創出を図ります。



岐阜県美術館

○複合業務拠点における風景創出

- ・住宅地等周辺環境と調和した空間形成を図りつつ、岐阜南部横断ハイウェイ（国道 21 号）や岐阜市中央卸売市場と一体となった複合的な業務拠点としての風景創出を図ります。



岐阜市中央卸売市場

○産業・流通拠点における風景創出

- ・岐阜流通業務団地等の活力ある風景形成と周辺の自然と調和した製造業等の企業誘致による良好な景観形成を図ります。
- ・都市近郊農業地として優良な田園風景と緑豊かな空間としての風景形成を図ります。



岐阜流通業務団地

○健康づくり拠点における風景創出

- ・市内の公園・緑地・広場は、住民のコミュニティ形成や日常活動の場であり、身近な緑の中で、健康増進やスポーツを楽しむことができる風景形成を図ります。



境川緑道公園

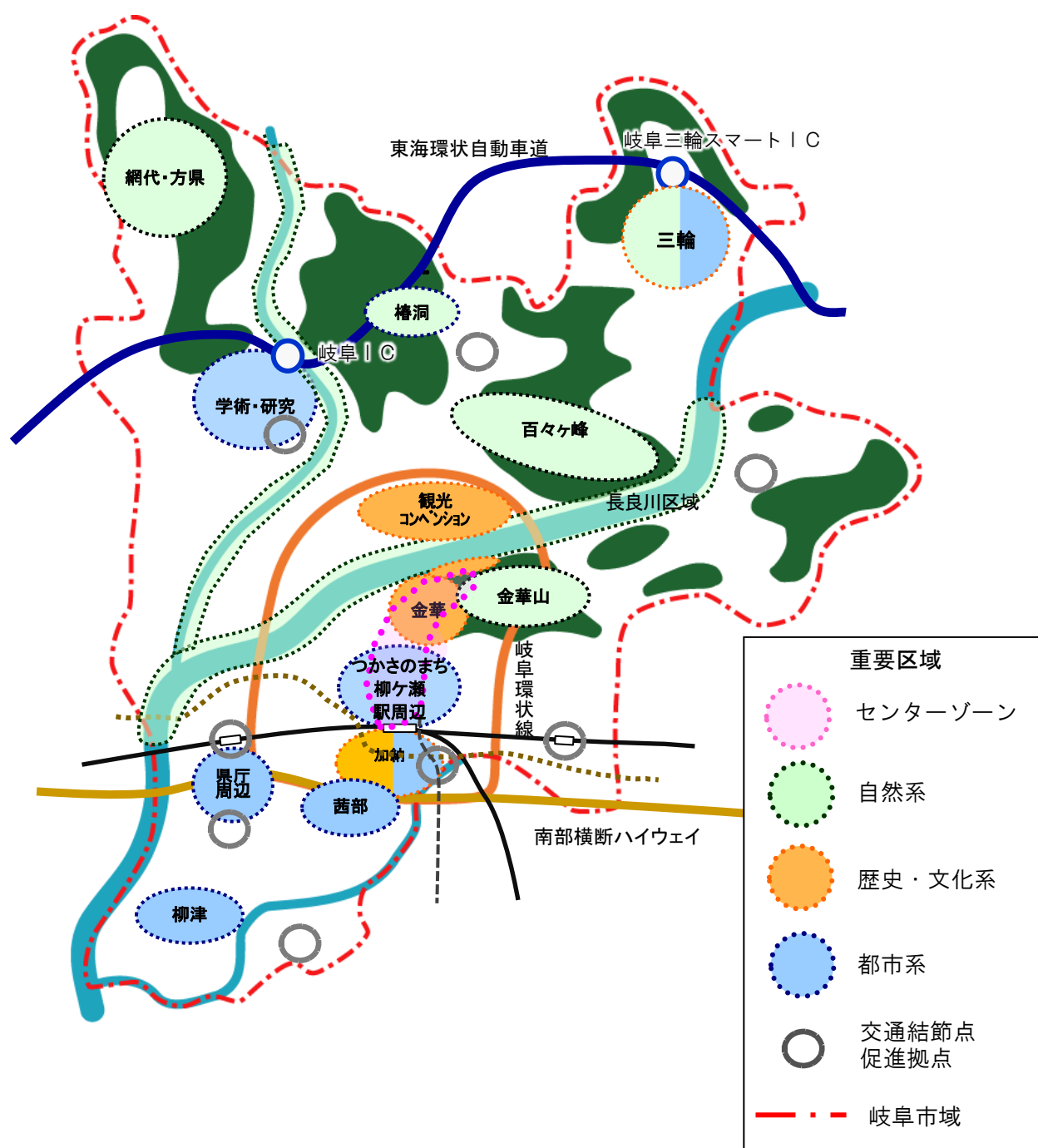
5. 重要な区域

(1) 重要な区域

風景は、市民の生活や営み、都市活動の積み重ねや融合により創出されたものであることから、官民が連携して取り組みを続けていく必要があります。

その際、行政は、市民等の活動を適切に誘導・支援する役割を担うとともに、岐阜らしい風景形成を誘導する観点から、風景形成上重要な区域を、まちづくりの総合的な方針である岐阜市未来のまちづくり構想や岐阜市未来創生総合戦略、岐阜市都市計画マスタープラン等関連する計画に基づき位置づけることとします。なお、詳細の区域は、必要性に応じて検討するものとします。

(2) 重要な区域のイメージ



センターゾーン等におけるイメージ



6. まちづくりの推進体制

本格的な人口減少、超高齢社会の時代に入り、地域経済活力の向上が求められるなか、選ばれる都市になるためには、その都市だけが有する魅力を守り、育て、あるいは創り出していく風景まちづくりが重要となります。

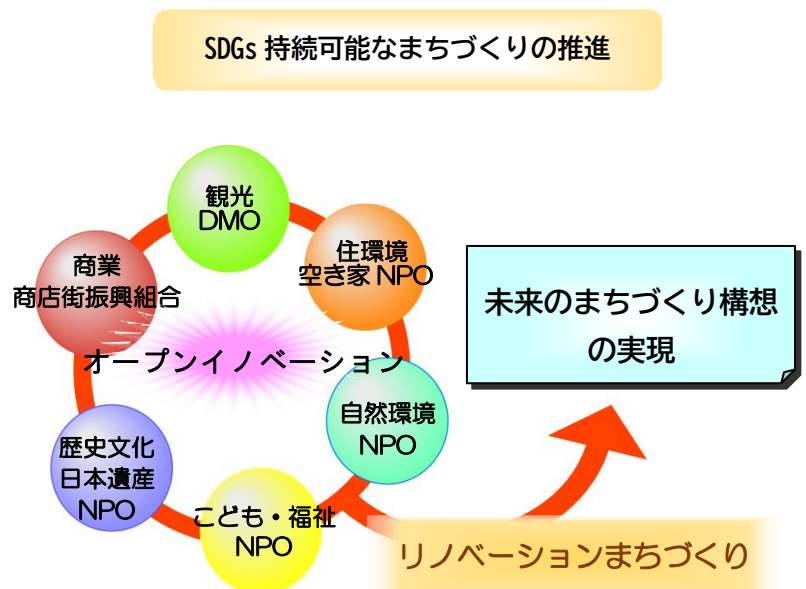
これらの実現に向けて推進体制の構築が必要となります。

(1) まちづくりのプラットフォームとリノベーションまちづくり

まちづくりには、観光、商業、歴史文化、福祉、環境、住宅など様々な分野があり、高度化、複雑化する課題を解決するため、各々の分野で活躍する多様な人が集まり、これからの地域やまちに必要な活動（プロジェクト）を生み出す場として、横断的な調整や施策連携を行うプラットフォーム機能が必要になります。様々な人がインターネット上で交流できる SNS などのコミュニケーションツールの活用やオープンイノベーションの取り組みにより、従来の組織や分野ごとのネットワークを超えて、新たな発想や最適な解決策を探し出すマッチングを実現するまちづくりプラットフォームの形成が期待されます。

本市のまちづくりにあたっては、こうした機能を生かし、民間主導でプロジェクトを興し、行政が支援することで、都市・地域経営課題を複合的に解決する官民連携によるリノベーションまちづくりを推進しています。

本市が掲げる「未来のまちづくり構想」の実現に向け、人やコミュニティを大切にする「人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち」を目指し、あらゆるまちづくりの機会を捉え、持続可能なまちづくりへと展開する取り組みを積極的に進めていきます。

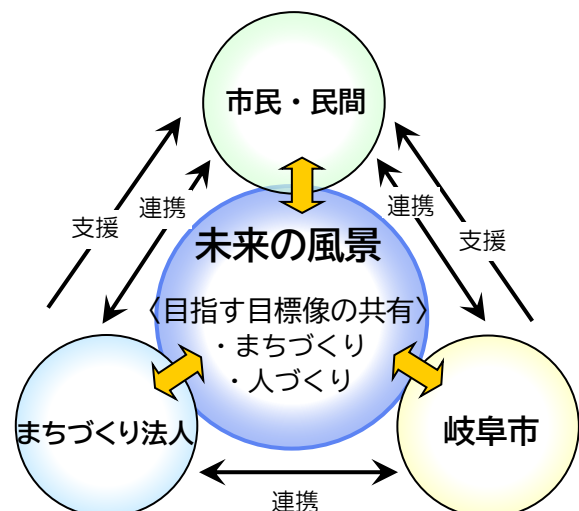


(2) まちづくりに取り組む姿勢 ～官民連携のまちづくり～

まちづくりの推進にあたっては、市民・民間それぞれが、未来の風景を形成していく主体として、アイデアやノウハウを活かしながら、できることから実践していくことが大切です。

そうした取組の環を広げながら、人がつながり地域全体の目標像を明確化し、未来のまちづくりへと発展させていくことができます。

民間主体の取組に対して、未来の風景を共有化しつつ、まちづくり法人や、岐阜市は、それぞれの立場で必要な支援を行う官民連携のまちづくりを進めていきます。



(3) 官民の役割分担

市民・民間、まちづくり法人、行政がそれぞれの役割をしっかりと意識しながら、まちづくりに取り組むことが必要となります。

○市民の役割

市民は、身近で簡単に取り組めることから始め、地域でのまちづくり活動やイベントへの積極的参加等により、風景づくりへの意識を高め、自らが良好な風景形成の主体であることを認識し、地域での自主的なルールづくりの提案を行う等、地域に愛着と誇りが持てるよう、風景まちづくりに取り組むことが望まれます。

○民間の役割

民間事業者等は、店舗や工場等の建物や事業活動が地域の風景を構成する要素の1つであることを認識するとともに、地域の一員であることを自覚し、市民及び市が実施する風景まちづくりに積極的に協力することが望まれます。

また、設計者・施工者等は地域の風景形成における重要な役割を担っている専門家としての認識を深め、建築物・屋外広告物等の設計・施工において、風景づくりにより一層配慮していくことが必要です。

○まちづくり法人の役割

まちづくり法人は、パブリックマインドを持ち地域資源の活用や地域の課題に対応する等、柔軟な活動を展開し、地域の個性を活かしたまちづくりに取り組むことが期待されます。

また、まちづくり法人は、市民・民間、行政の取り組みをコーディネートする等、横のつながりを意識した幅広い支援活動などが期待されます。

○行政の役割

行政は、都市づくりというハード面、人づくりというソフト面の両面に取り組むことで、本市が抱えているまちづくりの課題解決に努めます。

都市づくりでは、公共空間の利活用など人がいる風景づくりに向けた公共空間の整備や個別の開発行為等の規制・誘導を進めていきます。

人づくりでは、まちづくりの担い手を育成、創出するため、まちづくり活動や事業に関する主体的な取り組みを普及・促進・支援していきます。

コラム

◆まちづくりに必要な人のネットワーク

複雑化、多様化する社会課題解決に向けたまちづくりにとって、さまざまな分野の人と人との信頼関係や結びつきが大切になっています。

従来のピラミッド構造のような垂直型ネットワークの組織構造が、今は組織と組織を横のネットワークで連携し、複合性のある水平型ネットワークの重要性が高まっています。

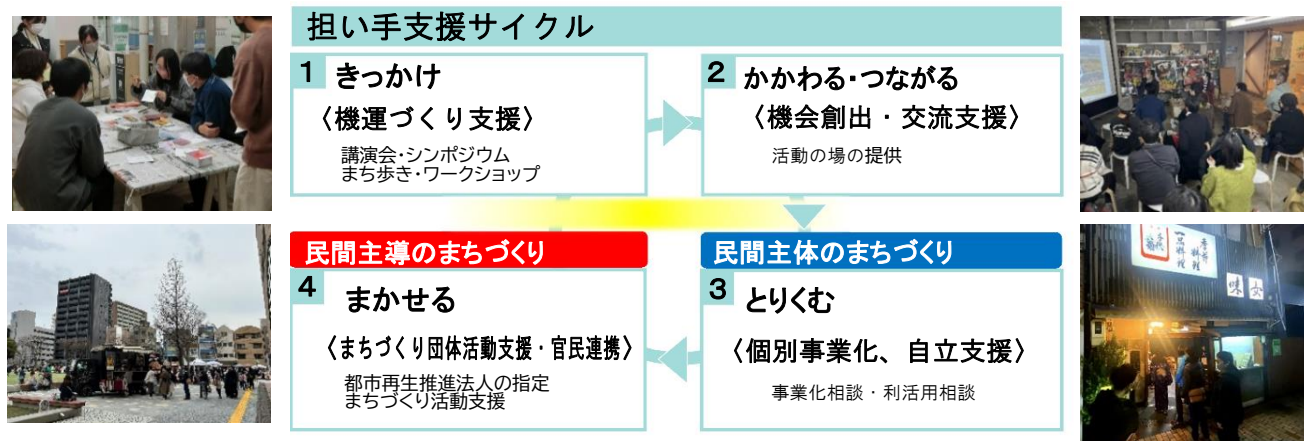
横の連携を深めるコミュニケーションの向上により、今までになかった組織や個人同士がつながり、情報共有や新しいアイデアを生む場が創出されます。

7. まちづくりの進め方

(1) ステージに合わせた担い手の支援

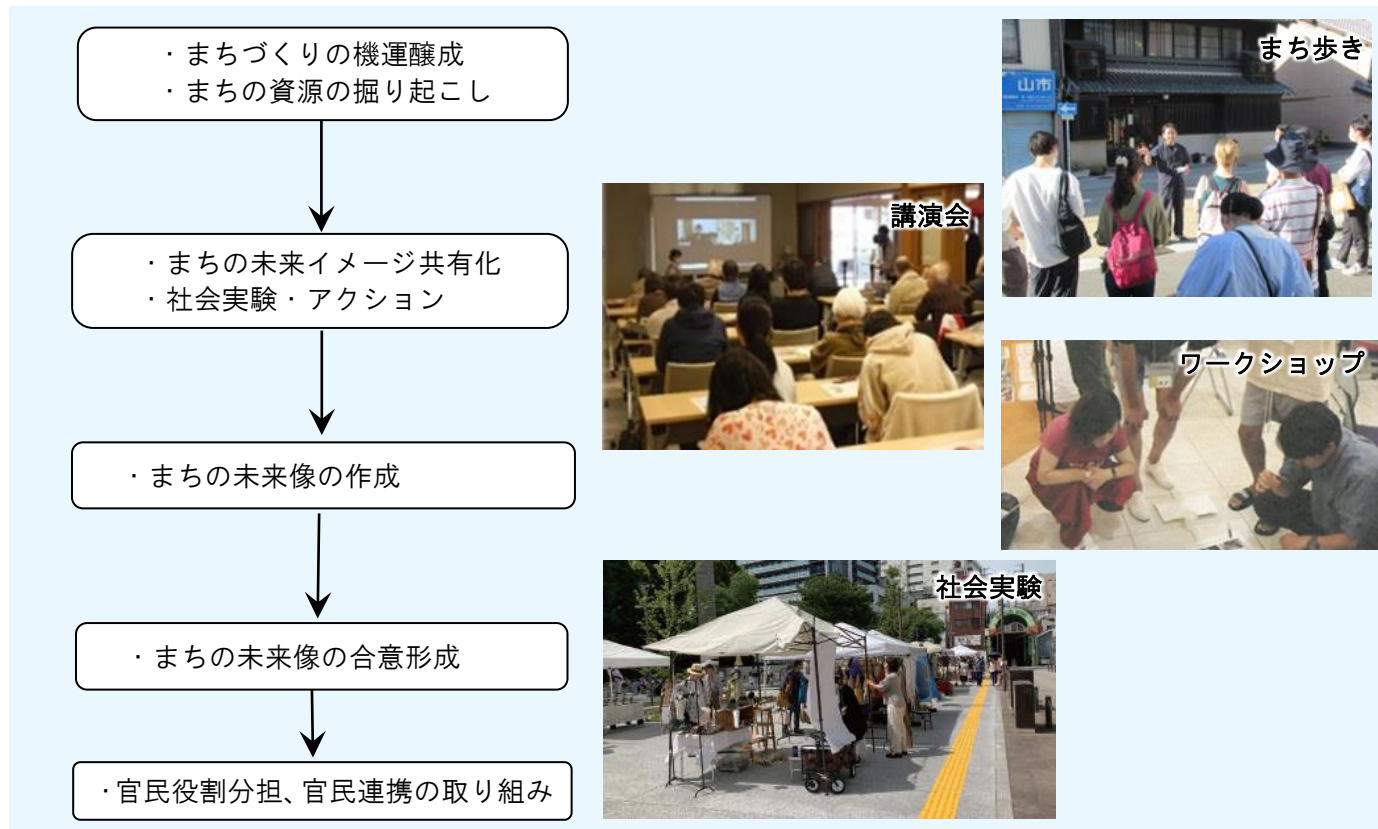
これまでの官民連携によるリノベーションまちづくりが進むなか、まちには魅力的なコンテンツが生まれ、エリアへの期待感が向上しています。こうした流れを絶やすことなく、持続可能なまちを構築するにはまちづくりの担い手の育成を通じた支援が必要です。

そのため、まちづくりの機運づくり支援、機会創出・交流支援、個別事業化・自立支援、まちづくり団体活動支援などそれぞれのステージに合わせた担い手の支援を行います。



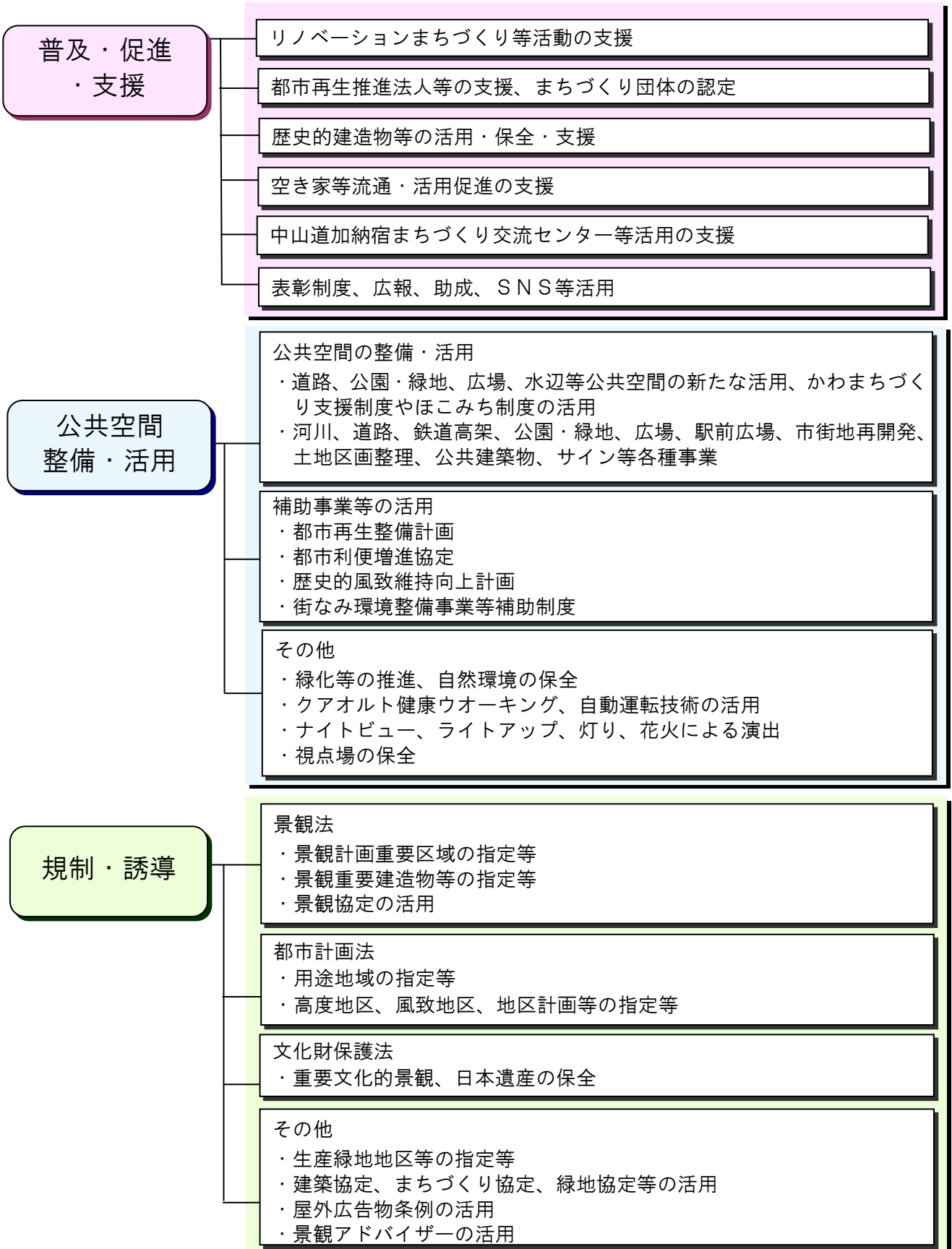
(2) 地域まちづくりの進め方（イメージ）

地域毎の特性に見合ったまちづくりの取り組みが必要なことから、まち歩きや勉強会の実施、ワークショップ、DXの活用などを通じてまちの資源を掘り起こし、まちの未来イメージを共有化し、まちづくりの目標を設定します。また、社会実験などまちづくりに関わる具体的なアクションを起こし、地域を巻き込みながら、合意形成を図り、まちの未来像を作成していきます。これにあたっては、まちづくり法人、行政が必要に応じて支援を行い、官民が連携して地域まちづくりを進めます。



8. まちづくり施策の方向性

まちづくりを進めるための行政施策としては、市民、民間等が主体的に風景創出に対する取り組みを推進するための普及啓発や活動の支援、風景形成に資する活きた空間、魅力的な空間を創出する公共空間の整備と活用、風景づくりに影響を与える個別の開発行為等や建築活動を規制・誘導する施策があります。本市のまちづくり施策の方向性は、以下のとおりとなります。



岐阜市景観審議会

(1) 岐阜市景観審議会の開催

岐阜市景観基本計画の変更は、学識経験者、市議会の議員、関係行政機関職員、一般市民（公募）により構成される岐阜市景観審議会を開催し、協議を踏まえ変更しました。

第41回岐阜市景観審議会（令和5年度第1回）

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 日 時 | 令和5年8月25日（金） |
| 2 | 場 所 | 岐阜市消防本部 6階 大会議室（岐阜市美江寺町2丁目9） |
| 3 | 議 事 | 1 会長の選出について
2 岐阜市景観基本計画について
3 その他 |



第42回岐阜市景観審議会（令和5年度第2回）

- | | | |
|---|-----|-------------------------------|
| 1 | 日 時 | 令和5年11月16日（木） |
| 2 | 場 所 | 岐阜市役所庁舎 12階 第1研修室（岐阜市司町40番地1） |
| 3 | 議 事 | 1 岐阜市景観基本計画の変更について
2 その他 |



第43回岐阜市景観審議会（令和5年度第3回）

- | | | |
|---|-----|------------------------------|
| 1 | 日 時 | 令和6年2月28日（水） |
| 2 | 場 所 | 岐阜市消防本部 6階 大会議室（岐阜市美江寺町2丁目9） |
| 3 | 議 事 | 1 岐阜市景観基本計画の変更について
2 その他 |

パブリックコメントの概要

- | | |
|---|---|
| 1 | 実施方法：岐阜市ホームページに資料を掲載
主な市有施設で資料を閲覧・配布 |
| 2 | 募集期間：令和6年4月2日～令和6年4月30日 |
| 3 | 募集結果：意見提出数2通（12件） |

(2) 岐阜市景観審議会委員

氏 名	所属	備考
相田 明	岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	
石田 開	岐阜聖徳学園大学短期大学部 教授	
板垣 修	国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所長	
臼井 直之	岐阜市立女子短期大学 講師	
岡田 利里	公益社団法人岐阜県建築士会	
奥田 雅之	岐阜県岐阜土木事務所長	
木田 まり子	岐阜県弁護士会	
黒見 敏文	岐阜女子大学 教授	会長
近藤 潤	岐阜県広告美術業協同組合 理事長	
坂井 隆広	公募	
津田 量一郎	公募	
中風 明世	中風美術研究所	
野澤 英希	愛知工業大学 教授	副会長
東谷 浩明	公募	
森下 満寿美	岐阜市議会	
渡辺 彰	岐阜県都市建築部都市政策課長	

(五十音順、敬称略 16 名)

事務局：岐阜市まちづくり推進部官民連携まちづくり課（令和 5 年度）

岐阜市まちづくり推進部まちづくり推進政策課（令和 6 年度）

あ行

アダプト・プログラム

「アダプト」とは、養子縁組をするという意味。公共空間を住民の皆さんが養子のように愛情をもって面倒を見るということ。活動団体と行政が覚書を結び、市民等の参加により道路、河川、公園等において継続的な清掃美化、草刈、植栽などの活動を進めるための取組のことをいいます。

岐阜版アダプト・プログラムでは、清掃を中心とする「一般型」のほか、整備計画の段階から市民が参画する「創造型」、地域の象徴的な空間を対象とする「文化財型」、環境保全を念頭においた「環境保全型」により、多様な活動に対応することのできる制度として確立され、参加件数も着実に増えています。

オープンイノベーション

高度化、複雑化する社会課題に対し、限られた財源、人材の中、広域、官民、庁内などの様々な連携を駆使することで、新たな付加価値及び予算、財源、人材の有効活用が期待できる施策、事業を展開することをいいます。

オープンスペース

大規模なビルやマンションに設けられる空地（くうち：敷地のうち建築物が建てられていない部分）であって、歩行者用通路や植栽などを整備した空間をオープンスペースといいます。また広い意味では、都市における公園・緑地・街路・河川敷・民有地の空地部分などの空間を総称して「オープンスペース」と呼ぶ場合があります。

か行

クアオルト健康ウォーキング

ドイツのクアオルト（健康保養地）で心筋梗塞、狭心症のリハビリ、高血圧症、骨粗しょう症等のための運動療法を基に考案された健康づくりのためのウォーキング法のことをいいます。

岐阜市都市計画マスタープラン

本市の都市計画マスタープランでは、「コンパクト＋ネットワークによる集約型都市」を将来都市像に掲げ、都市づくりの方針として、土地利用をはじめ、道路、公園、下水道等の都市施設、都市環境・景観といった都市を構成する様々な要素に関して、が目指すべき取組みの方向性を明確にしています。

岐阜市みどりの基本計画

本計画は、都市緑地法に規定される「市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」として定めるもので、「緑の目標」、「緑の方針」、「緑の施策」などの事項を総合的かつ計画的に実施するための指針のことをいいます。

岐阜市未来のまちづくり構想

2040 年頃を見据えた、岐阜市のまちづくりの総合的な方針です。新型コロナウイルス感染症などの新たな課題に的確に対応するとともに、人口減少など従来からの課題解決を目指すための新たなまちづくりの方向性が必要であることから、従来の「ぎふし未来地図」を見直し、令和 4 年 2 月に策定しています。

岐阜市立地適正化計画

都市再生特別措置法に基づき、住宅及び都市機能増進施設（医療施設、福祉施設、商業施設その他の都市の居住者の共同の福祉又は利便のため必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与するもの）の立地の適正化を図るための計画です。本市の計画は、「コンパクト＋ネットワーク」の考えで住宅と生活サービスに関連する利便施設がまとまって立地するよう、ゆるやかに誘導を図りながら、公共交通と連携したまちづくりを行うものです。

協働

地域又は社会の課題の解決を図るため、市民が相互に、又は市民と市がともに、お互いの立場を尊重し、それぞれの特性を生かし、協力して取り組むことをいいます。

区域区分

都市計画法に基づき都市計画区域を、すでに市街地になっている区域や計画的に市街地にしていく区域（市街化区域）と、市街化をおさえる区域（市街化調整区域）に区分をすることをいいます。

グリーンインフラ

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する「良好な景観」、「生物の生息場所」、「浸水対策」などの多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組のことをいいます。

交通結節点促進拠点

トランジットセンター及びその周辺において、交通機能の向上・充実や利便施設などの維持・誘導を図る拠点のことをいいます。

コミュニティ

多様な生活形態を基礎として形成されるまとまり・結びつきのひろがりのことです。住民一人ひとりのつながりに始まり、地縁による「地域型コミュニティ」、特定のテーマを持った「目的型コミュニティ」などがあります。

コミュニティバス

路線バスを補完し、地域内における日常生活の移動確保を目指し、地域住民・行政・交通事業者が一体となった、市民協働による手づくりの地域公共交通のことをいいます。

コミュニティビジネス

地域の人々が中心となり、地域に根付いた市民サービスや社会サービス事業を展開することで、ビジネス的手法により地域課題を解決していこうとする取り組みのことをいいます。

さ行

シェアサイクル

市内に設置するサイクルポートで、一部を除き 24 時間自由に借りて、自由に返却できる自転車貸出サービスのことをいいます。

自動運転

自動車等の運転手が運転中に行う認知、判断、操作などを、運転手に代わり、システムが自動的に行う技術のことをいいます。

シビックプライド

市民のまちに対する誇り。単なる郷土愛だけではなく、市民自らがまちに関わり、まちのよき未来を描こうとする意識のことをいいます。

スマートインターチェンジ（SIC）

高規格道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りできるよう設置され、ETC を搭載した車両に利用が限定されるインターチェンジのことをいいます。

スマートシティ

ICT などの新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営など)の高度化により都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域のことをいいます。

スマートシティぎふ推進プロジェクト

さまざまなシーンでの運動を、岐阜市に「住む」ことや「訪れる」ことで自然と実践できるよう、意識せずとも「出かけたくなるまちの創出」を進めるとともに、一人ひとりの健康への「意識の啓発」に取り組むことで、誰もが心も体も健康で幸せになれる「健幸都市ぎふ」出かけて健康になるまちの実現を目指し、「スマートシティぎふ推進プロジェクト」に取り組んでいます。

プロジェクトの 4 つの柱のうち、交通分野では、健康的に歩くことができる、歩きたくなる「都市空間の形成」や誰もが気軽に出かけられる「移動手段の確保」が位置づけられています。

ソーシャルビジネス

障害者支援、子育て支援、貧困問題、環境保護、まちづくり・まちおこし等の社会的課題の解決を目的とした持続的な事業活動のことです。従前の営利を目的とした典型的な「会社」とは異なり、また、無報酬の善意に依存する「ボランティア活動」とも異なる新しいスタイルの事業形態のことをいいます。

ゾーン 30 プラス

ゾーン 30 は、一定の区域内の最高速度を 30km/h に規制する安全対策のことをいいます。

ゾーン 30 プラスは、ゾーン 30 の安全対策に加えて、車の減速を促す物理的なハンプなどのデバイスを設置することで、より安全対策を進める取組みのことをいいます。

た行

大規模集客施設

劇場、映画館、演芸場若しくは観覧場又は店舗、飲食店、展示場、遊技場、勝馬投票券発売所、場外車券売場等でその用途に供する部分（劇場、映画館、演芸場又は観覧場の用途に供する部分にあつては、客席の部分に限る。）の床面積の合計が 10000 ㎡を超える建築物のことをいいます。

多自然川づくり

自然石を利用した護岸や河床の整備などにより、生物の良好な生育環境に配慮し、本来川の持つ自然環境を保全・再生することをいいます。

地区計画

都市計画法に基づき地域における良好な環境を整えるため、地域特性に応じ道路や公園の配置や規模、建築物等に関する規制を都市計画に定めたまちづくりのルールをいいます。

都市再生推進法人

都市再生特別措置法第 118 条第 1 項の規定により、都市再生の新たな担い手として行政と連携したまちづくりに取り組む法人を、市が指定することをいいます。

トランジットセンター

自動車・自転車・バスと鉄道、自動車・自転車とバス、バス相互間など、各種交通機関の乗り継ぎを行う施設のことをいいます。

は行

バスまちば

バス路線沿線のコンビニエンスストア等の商業施設と連携し、店内にバス接近情報等を表示するシステムを設置することで、店内で快適にバスを待つことのできる取組みのことをいいます。

パブリックコメント手続

市の基本的な政策の策定に当たり、その案の趣旨、内容等を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見の概要及び当該意見に対する市の考え方を公表するとともに、提出された意見を参考にして意思決定を行う一連の手続のことをいいます。

バリアフリー

障がい者や高齢者等が日常生活を送る上で、段差などの物理的な障壁をはじめ、社会的、制度的、心理的に障がいとなるものを除去することです。

風致地区

都市計画法に基づき都市としての風致を維持するため、特に自然的景観の維持に重点を置き、条例で建築、土地造成等に規制をする地区のことをいいます。

プロモーション

消費者の購買意欲を高めるための活動のことです。主な手段として人的販売、広告、テレビ、雑誌などのメディアの活用、イベントへの出展などがあります。

ま行

マーケティング

顧客のニーズを探るための市場調査・分析のことです。それらにもとづく商品企画・開発、開発した商品を知ってもらうための広告宣伝活動・プロモーションなどもマーケティングに含まれます。

や行

ユニバーサルデザイン

障がいの有無や年齢に関係なく、はじめからすべての人にとって利用しやすいまちづくり、ものづくり、環境づくりを行っていきこうという考え方のことをいいます。

ら行

ライフスタイル

生活様式のことであり、衣食住だけでなく、交際や娯楽なども含む暮らしぶりを指します。

ライフライン

電気・ガス・水道や電話など、都市生活の機能を保つ生命線のことをいいます。

リノベーションまちづくり

まちに増える空き家や空きビル、使用していない公共的な空間といった遊休不動産と、人や文化、産業などの潜在的な地域資源を組み合わせ、新しい使い方をすることにより、魅力あるコンテンツを創出、集積して、エリアの価値向上と地域の課題を解決することをいいます。

緑地協定

都市緑地法に基づき、土地所有者等の合意によって締結される、緑地の保全や緑化に関する協定のことをいいます。

緑地保全地域

都市緑地法に基づき、里地・里山など都市近郊の比較的大規模な緑地において、比較的緩やかな行為の規制により、一定の土地利用との調和を図りながら保全する地域のことをいいます。

ワークショップ

少人数による参加者同士のグループ討論を中心とした意見交換会の一形態で、テーマとなる政策案に対し多様な視点からのアイデアを抽出・共有しつつ、政策の方向性を一緒に創り上げていくための議論を行うことをいいます。

ワークダイバーシティ

若者、女性、高齢者、外国人、障がい者等の多様な人材が、働くことを土台に活躍できる社会の実現を目的とした、多様性のある働き方のことをいいます。

ワーク・ライフ・バランス

仕事にやりがいや充実感を感じながら、家庭でも家族や地域の関わり、趣味など様々な時間を楽しめるよう、家庭環境やライフスタイルに応じて、ワーク（仕事）とライフ（生活）のよりよいバランスを実現することをいいます。

その他

BRT

Bus Rapid Transit の略。バス優先レーンの導入など走行環境の改善によるバスの定時性や速達性を確保し、連節バスなど車両の高度化とあわせ、利便性・快適性を高めたバスシステムのことをいいます。

DX

Digital Transformation（デジタル・トランスフォーメーション）の略。デジタル化により、これまでのサービスや仕事の仕方を変革し、新たな価値を創出するとともに、組織文化や社会の仕組みを変革することをいいます。

DMO（Destination Management/Marketing Organization）

観光庁が進める「日本版 DMO」の定義は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人としています。

NPO（Non-Profit Organization）

市民が自発的につくったボランティア団体や市民活動団体を含む民間非営利組織のことです。そのうち、特定非営利活動促進法（NPO 法）により認証されたものを特定非営利活動法人（NPO 法人）のことをいいます。

Park-PFI

平成 29 年の都市公園法改正により新たに設けられた、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のことをいいます。

PFI（Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のことをいいます。

SDGs（Sustainable Development Goals）

持続可能な開発目標のことであり、2015 年 9 月に国連サミットにおいて採択された、2030 年までに達成を目指す世界共通の目標です。貧困、飢餓、気候変動や平和など幅広い分野にわたる 17 の目標(Goals)が定められています。

Well - being

心も体も健康で人や社会との豊かなつながりのある状態のことをいいます。

岐阜市景観基本計画

平成 19 年 10 月策定

令和 6 年 8 月変更

発行：岐阜市

編集：岐阜市まちづくり推進部まちづくり推進政策課

(住所)〒500－8701 岐阜市司町 40 番地 1

(TEL) 058-265-4141 (代表)

(Email) machi - sei@city.gifu.gifu.jp